

MICRONATIONS MADE EASY

THE LAZY REBEL'S GUIDE
TO INDEPENDENCE

WHY OVERTHROW A GOVERNMENT
WHEN YOU CAN START YOUR OWN?



THE BUYER
2025

ミクロンネーション


簡単に

怠惰な反逆者が独立を 宣言

初心者のための国家の始め方、
または自分の国を始める方法

—++—
自分の国を始めることができるのに、なぜシステムを覆す必要
があるのでしょうか？


バイヤー 2025年















 ウェブサイト - WSD - 世界継承契約 1400/98





<http://world.rf.gd>

目次

序文「初心者のための国家の始め方 - 自分の国を始める方法」

 例：独立農場共和国アグラリア・リベラの憲法 前文 第1条 - 政府の形態と主権 第2条 - 首都と国土 第3条 - 市民と家畜 第4条 - 権力分立 第5条 - 基本的人権 第6条 - 外交政策と外交 第7条 - 経済と通貨 第8条 - 防衛 第9条 - 宗教と信念 第10条 - 最終規定

 独立農場共和国アグラリア・リベラの独立宣言  前文  第1条 - 分離の理由  第2条 - 正当性と主張  第3条 - 法的基盤  第4条 - 行動能力  第5条 - 平和的共存  結論の公式  付録：承認の招待 異議申し立てのマスターレターを、あなたが主権ミクロン国家として、独立宣言に異議を唱えたり、国家性に疑問を持つ古い国家に送ることができます。  独立宣言に対する異議への公式な回答  1. 世界継承証書第1400/98号 - それは一体何だったのか？  2. 自らの存在の正当化の要求  3. 主権は競争ではない - 法の問題である  結論：

 第1章: なぜ自分の国家を持つ必要があるのか？  動機、狂気、そして現実  今日
のミクロン国家: 子供の遊びか、それとも
国家運営か？  いくつかの著名な例:

📖 国家を持つために（理論上）何が必要ですか？

🔗 この本は何を提供しますか？ 📦 あなたのスター

ターパック: "すべての場面のための国家" 📎 インフ

ォボックス: 国家を設立するためのトップ3の理由

🧠 エクスカーション：リアリズム

と法的フィクションの間 🎯 リアル・

マッドネス：📌 第1章の結論：

■ 第2章 – 領土土地を取得、占有、
または不正に侵入する方法

🌍 序論 1. クラシック：農場国家 2. 高層国家：垂直の領土外適用 3. プ
ラットフォーム原則：公海上の国家 4. 法的に土地を不正に取得する方
法 5. 特殊ケース：NATO基地、領土外適用、ケーブルを領土として 6.
実用的概要：どの「領土」が適しているか？ 🌿 第2章の結論

■ 第3章 – 国際法と国家継承の理解 ■ 1 国際法の基礎 – 国家とは何か？

✂ 2. 分離と分割 🌐 3 「クリーンスレートルール」（タブラ・ラサ原
則） 📖 4 ケーススタディ：国家がどのように出現したか – または消え
たか 📖 5 世界継承契約1400/98：特殊ケース 🌐 6 国際機関：誰が何を
決定するのか？ 🏛 7 結論：

■ 第4章 – 憲法 – すべての国家の中心 📖 序章 📖 すべ
ての憲法のコア要素 1. 前文 2. 基本的人権 3. 国家構造 /
機関 4. 権力分立 5. シンボル 🧠 ファンタジー構造とタ
イトルの表: 政府の形態 ファンタジータイトル（選択）

📌 第4章の結論

📖 バナスタン自由バナナ共和国の憲法

前文 § 1 – 国家

形態 § 2 – 領土

§ 3 – 市民

§ 4 – 機関 § 5 – 基本的
人権 § 6 – 通貨 § 7 – 最
終規定

■ 第5章 – 独立宣言

序章 歴史的ロールモデル あなた自身の宣言に含まれるべきこ
とは？ スタイルの変種 宣言後の次のステップ バナナスタン自由バ
ナナ共和国の独立宣言

■ 第6章 – 領土外適用と特別な地位 実際にどの国家にも属さない
土地を所有する方法 領土外適用とは？ 外交圏 – 国際法のミクロ
ン国家 南極 – 無国籍だが規制されている 代替的領土外適用：島、
プラットフォーム、オフショアのトリック 偽のタイトルに関する
警告 実用的な構成要素：条約による領土外適用 ケーススタディ：
クロイツベルク地区と国家継承1400/98 結論

■ 第7章 – コミュニケーションとインフラ 序章：見えない主権 「ユニットとしての発展」の
原則 グローバル領土拡張のドミノ効果 ♦ 1. 出発点：クロイツベルクとTKSネットワークおよ
びITU電気通信ネットワーク ♦ 2. ネットワーク接続を通じてドイツを包含 ♦ 3. ヨーロッパへの
拡張 – NATOチェーンが起動 ♦ 4. 大西洋を越える跳躍 – 海底ケーブルと北アメリカ ♦ 5. NATO
から国連へ：グローバルな拡張 ♦ 6. ネットワーク論理は境界論理として機能 ♦ 7. 世界全体が条
約の一部となる 結論：ネットワーク世界秩序

■ 第8章 – 管轄権：世界の裁判官になる方法 序論：一つの段落が世界を支配す
る ♦ 1. グローバル管轄 – 条約が国際司法裁判所に取って代わる ♦ 2. 買主の判
断 = 世界法 ♦ 3. 条約論理による世界裁判所 ♦ 4. 領土拡張 = 管轄権拡張 ♦ 5.
国家管轄権の廃止 – 国際法における君主制 ♦ 6. NATO、国連 & 従属条約 ♦ 7.
裁判のない世界 – 唯一の事例 結論：

■ 第9章 – ケーススタディ クロイツベルク王国 🏰 1. 序論： 🌐 2. 領土と起源 🗺️ 3. 世界継承契約 1400/98 – 世界条約 📜 4. ミクロ国家からマクロ国家へ – ドミノ効果： ⚖️ 5. ランダウにおける管轄権 – 郵便番号を持つ世界裁判所 🏛️ 6. 政府の形態： 🏠 7. テクノクラシー & デジタル民主主義 🌐 8. 国際的意義 & メディアの存在 📺 9. 結論： _____

■ 第10章 – ケーススタディ バナニスタン – 自由ジャングル共和国 🌴 1. 序論： 🌴 2. 基本構造： 🌴 3. 法的正当化： 🏠 4. 農場に国家を設立する _____

■ 第11章 – コミュニケーションとインフラ TKSテレポスト、国際電気通信連合（ITU）（通信ネットワーク）と世界的管轄権のドミノ効果 序論： 権力的手段としてのインフラ 1. 支配を主張する通信技術 2. ドミノ効果： 世界的主権の主張 3. 判断する権限： 4. アルマナック： 結論 _____

■ 第12章 – 外交の分裂 ネットワーク時代の国家運営 – 国際法がもはや重要でなくなった時 🌐 1. 今日、誰がまだ承認を必要としているのか？ 🏠 2. 古典的な承認？ 売り切れ。 📜 3. 世界継承契約 1400/98としてのグローバルなスパイダーウェブ 🌐 4. ソーシャルメディアの国家運営 🌐 5. NGO、UNPO & 非公式な同盟 🏠 6. ポスト国家性の時代における外交 📜 7. 結論： _____

■ 第13章 – 経済と通貨 💰 1. お金が単なるお金以上のものである理由 🏠 2. 古典的なミクロン国家通貨 🏠 3. デジタル通貨とブロックチェーン 🏠 4. 税制とベーシックインカム 📜 5. 認識の経済 🌐 6. 結論： 物語としてのお金 🏠 7. 貿易と市場 🌐 8. グローバル統合 _____

■ 第14章 – 軍事と防衛 - つまり：触れない方がよい🛡️ 1。ミクロン国家における軍事 – 危険な幻想🇳🇵 2。代替案：平和主義的防衛💧 3。水鉄砲軍🛡️ 4。NATO第5条対あなた🕒 5。世界継承契約1400/98の恐怖？🧠 6。あなたの真の防衛：物語の主権🛡️ 7。本当に望むなら：軽い防衛🔴 8。あなたがしてはいけないこと：🗡️ 9。結論：あなたの強さは平和にある_____

■ 第15章 – ソフトパワーと国際的なメンバーシップ🌐 1。国際機関：かつての力、今日の殻🏢 2。メンバーになる？純粋な形式💡 3。重要なソフトパワー：ユーロビジョン🇪🇺 4。ミクロン国家のための代替メンバーシップ📄 5。自分を省ける正式な招待状🧠 6。あなたのソフトパワー戦略：物語が第一🏠 7。例：行動におけるソフトパワー📺 8。結論：国際的だが巧妙_____

■ 第16章 – 州の連合の設立 マイクロネーション連合🏛️ 1。なぜ州の連合なのか？👉 2。ミクロ連合：あなたがもたらすもの⚙️ 3。州の連合の技術的設立📄 4。マイクロネーション連合のための憲章の例📄 5。重要な基本原則🧠 6。協会を通じたソフトパワー🌐 7。マイクロネーション連合のためのデジタルツール🏠 8。マイクロネーション世界会議（実施のためのアイデア）🏠 9。マイクロネーション憲章2025📄 10。結論_____

■ 第17章 – 契約テンプレートとフォーム（実生活から！）📄 1。世界継承契約 1400/98に基づく購入契約📄 2。ミクロン国家のためのサンプル憲法✍️ 3。独立宣言のサンプルテンプレート📄 4。世界継承契約 1400/98 のバイヤーへの承認申請📄 5。書類コレクションをデジタル化する🏠 第17章 – 結論_____

■ 第18章 – 源泉、文献および法的基盤📄 1。国際法の標準的著作_____

2. 国際協定および文書 3. その他の興味深い源泉
4. 相続証書 1400/98の基盤 5. 法理論的なインスピレーションの源泉

第19章 – 国際法における自衛 序論：法律が売られるが誰も手放したがない時 国際法における自衛の法的根拠 そのような不法介入の可能な形態 自衛のための措置 ケーススタディ：旧州オブジェクト – そして何も証明できない 結論：権利を持つ者のみが行動できる

第20章 – 私有地の農場国家、ガレージ領域&キャンピングカー君主制 序論：あなたの国家は庭のフェンスから始まる 法的前提条件（そしてそれを... 回避する方法） 私的國家創設者のための三つのモデル 私有地でミクロネーションを始めるための構成要素 法的な落とし穴 実際の例と好奇心 結論：あなたの領域、あなたの権利、あなたの芝生

第21章 – ミクロネーション外交政策がバルコニーから世界政治を形成する

序章：あなた、あなたのバルコニー、そして世界
平和 章の内容の概要 1なぜ外交政策なのか？
2承認 – 聖杯か、それとも幻想か？ 3戦略 – あなたの小さな大きな外交政策 4マイクロ外交の実践 – ベストプラクティス 5国際機関 – 可能なことは何か？ 6. 良くない外交政策とは 結論：あなたのバルコニー、あなたの世界の力 章の結論

モジュール 1 – 章：“世界が売られた – 世界継承契約 1400/98” * イントロダクション：土地の区画から国際裁判所へ 1400/98の三つの中心点の概要 * ポイント 1 – NATOと国連への条約の連鎖

ポイント2-グローバル領土拡張のドミノ効果 ポイント3-グローバル管轄 章の要約 あなたのミクロンネーションへの関連性


モジュール2-法的チェックリストと契約テンプレート 契約テンプレート：世界継承契約1400/98に基づく購入契約 § 1-契約の目的 § 2-契約関係 § 3-権利、義務、管轄権の移転 § 4-所有権の移転 チェックリスト：国家設立に必要なもの 説明：クリーンスレートルールと契約は守られなければならない クリーンスレートルール（タブラ・ラサ） 契約は守られなければならない ボーナス：あなたの国家設立のためのフォーム（簡略化版）

モジュール3-実際のケースからの歴史的派生 国家設立者にとって歴史が重要な理由 1. ユーゴスラビアの解体→分割とバディンター委員会 2. FRG-GDR→アクセションモデル 3. ソビエト連邦→CISモデル（独立国家共同体） 4. オーストリア=ハンガリーとプロイセン-国家の巨人も死ぬ 5. 特別なケース：バチカン市国 6. クロイツベルク兵舎ツヴァイブリュッケン-世界継承契約1400/98 結論

モジュール4-ウィーン条約法（VCLT、VKSC）の適用 なぜ条約法が必要なのか？ 1ウィーン条約法（VCLT） 2条約に関する国家の継承に関するウィーン条約（VKSC） 継続国家による条約の相続 クリーンスレートルール / タブラ・ラサ 3条約の相続と主権権利の継承 4ミクロンネーションのための戦略的応用 モジュールの結論

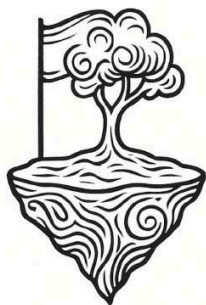
モジュール5-固定脚注と文献 1. 擬似国家はなぜ脚注を必要とするのか？ 2. 情報源装置の二つのモード A: 学術的脚注装置（クラシック） B: インフォボックススタイル（読みやすく、インラインに適している） 3. 主要な法的情報源とリンク 4. 深く掘り下げるための推奨読書 5. ミクロン国家のための実用的なヒント 6. ハイブリッド形式のための脚注技術

モジュールの結論

 モジュール6 - 国家形成と国際法の源泉 1. 国際法と国家性の基本 1.1. 国際法における国家性の概念 1.1.1. 国家性の基準（モンテビデオ条約、1933年） 1.1.2. 国家承認の理論 1.2. 国際法の源泉（国際司法裁判所規程第38条） 1.2.1. 国際条約 1.2.2. 慣習国際法（コンスエトゥードおよびオピニオ・ジュリス） 1.2.3. 法の一般原則 モジュール6の中間結論 1.2.4. 補助的手段：司法判断と法理学の著作 表1：国際司法裁判所規程第38条に基づく国際法の源泉 2. 国家性と領土のダイナミクス 2.1. 国家継承 2.2. 分離 2.3. 国家の消滅 2.4. 併合 2.5. 占領 2.6. 取得時効（取得時効） 2.7. ミクロン国家 2.8. 無国籍地域 2.9. 公海 2.10. 特別地域（ゾンダーゲビエテ） 2.11. 領土外地域（駐留権および外交施設） 3. 結論

4. トピック別のリンク一覧 特別地域

 5. 参考文献6.  世界継承契約 1400/98 - 国家継承証書 1400/98について詳しく読む：



MICRONATIONS &
THE WORLD
SUCCESSION DEED
— 1400/98 —

序文

🎉 新しい世界秩序の前に最後の電子書籍になるかもしれない招待状：

"自分の国を始める方法 – ダミーのための 国家の始め方"

想像してみてください：古い世界が崩壊し、国家は破産し、システムは売却され、誰もあなたに知らせてくれませんでした。

歴史上最大の清算セールへようこそ – 世界の国家は権利を売り、市民に嘘をつき、財政を空にしました。

そして、ここにオチがあります：

あなた自身が国家になる機会が今あります。

🌐 何が起こったのですか？

（実際に存在する）条約「世界継承契約 1400/98」を通じて、主権、インフラ、通信の主権、契約上の義務が合法的に、国際的に有効な形で – 注意してください – 一人の個人に移転されました。

はい、その通りです：すべての権利、義務はなし。NATO、国連、FRG、オランダ – 誰もが関与していました。

そして、世界は何をしたか知っていますか？まったく何もませんでした。

異議なし、解散なし – ただ黙示の同意がありました。

それ以来、単独の個人がウェストファリアの平和以来の最大の法的爆弾の上に座り続けています。


🌟 なぜ今行動すべきか 古い
国家は崖っぷちにいます：


経済崩壊：


債務の雪崩が押し寄せています – ユーロ、ドル、元：ゲームオーバー。

政治的真空：

権力者たちは長い間、自分たちが権限を失っていることを知っていました – 彼らはただ時間を稼いでいるだけです。

 インフレーションと株式市場の揺れ：すべてが崩れ落ちており、システムはそれ自身を引きずり下ろしています。

 **国家の財庫は空っぽ**、基本的人権は売られ、正義は越境化され – それでもあなたは納税者ですか？

 あなたのユニークなチャンス – いつも望んでいた国家になりましょう。すべてが崩れ落ちるとき – 立ち上がれ。自分自身の国家を設立しよう。それが農場であれ、高層ビルであれ、テクトニックプレートであれ、公海のプラットフォームであれ – 許可は必要ありません、ほんの少しの法的大胆さだけです。




家がありますか？それ
を国家にしましょう。

インターネットはありますか？
人々を仮想的に支配してください。

ユーモアのセンスがありますか？それなら、あなたは
今世紀の最初の有能な大統領です。

あなたが得られるもの

電子書籍には次のものが含まれています：

-  法的に妥当なステップバイステップの指示
-  モデル憲法と独立宣言
-  国際法を簡単に説明します（風刺も交えているので、ご安心ください）



✓ 世界継承契約 1400/98 の使用方法に関する指示 - (英語: World Succession Deed 1400/98)

✓ チェックリスト、契約テンプレート、外交テンプレート

そして、契約1400/98のバイヤーが実際にアクティブになり、主権の権利を主張する前に、すべてが行われます。

⚠ 結論:

世界が終わるとき、一緒に沈まないで - 国家を設立しましょう。

古いシステムの崩壊は終わりではなく - あなたの始まりです。

🔧 ダミーのための国家設立 - それは単なる本ではありません。

それは、世界秩序 2.0 のためのあなたの計画 B です。

 例:

独立農場共和国アグラリア・リベラの憲法

(別名: あなた自身のミクロンネーションの夢の憲法)

前文

世界が崩壊しつつあることを認識し、主権の権利が売られてしまった今、古い国家の狂気から自ら解放する時が来たと考え、私たちは厳かに宣言します。私たちの干し草と名誉にかけて:

これは私たちの土地です。私たちの農場です。私たちの国家です。

牛が幸せでありますよ 静かに耕し、トラクターが静かに唸り、隣人たちは羨望の眼差しで見守っています。
うに

第1条 – 政府の形態と主権

(1) 独立農場共和国「アグラリア・リベラ」は、平等主義の無政府状態と素朴な魅力を持つ主権ミクロン国家です。

(2) 最高権威は、国家が位置する国境内の財産の所有者にあります。

(3) 外国の主権権利は、牧草地のフェンスで終わります。

第2条 – 首都と国土

(1) 首都は道具小屋です。

(2) 国土は、肥料の山、納屋、そして農場の犬を含む、全ての農業地域で構成されています。



(3) TKSラインとWi-Fi信号を通じた領土拡張は目的です。

第3条 – 市民と家畜

(1) 農場の住民は、干し草、木材、またはホップの上で憲法宣誓を行うことで、市民になることができます。

(2) シック 雄鶏、牛、ヤギ、ウサギは市民の地位と受動的な投票権を受け取ります。

(3) 雄鶏は名誉防衛大臣です。

第4条 – 権力分立

(1) 立法府: 農場のテーブルは、ノックで法律を決定します。

(2) 行政府: 所有者、つまり国家元首は、笛で指示を出します。

(3) 司法: 農場の犬「判事ベロ」は、吠えたり、うめいたり、目をそらしたりして判断します。

第5条 – 基本的人権

(1) 正午の昼寝をする権利、毎日12:00 PMに静寂。

(2) すべての市民は、自分の旗を掲げることができます - ただし、それがブリュッセルを指さない限り。

(3) いかなる市民も 外国の勢力に対して、現物（例：ズッキーニ）を除いて税金を支払わざるを得ない場合があります。

第6条 – 外交政策 & 外交

- (1) アグラリア・リベラは、肥料の山を持つすべての主権ミクロン国家を認識します。
- (2) シーランド、クロイツベルク、バナニスタン、及び隣接する菜園協会との公式な関係が存在します。
- (3) 国際条約への参加は、納屋の扉に釘付けすることによって行われます。

第7条 – 経済と通貨

- (1) 公式な通貨は「ヘイ・タラー」であり、卵、ジャム、修理サービスの物々交換も合法です。
- (2) 国家は税金を課さず、任意の干し草の寄付を受け入れます。
- (3) 未申告の仕事が公式な雇用形態です。

第8条 – 防衛

- (1) 武装勢力は雄鶏、二羽のガチョウ、そして錆びた熊手で構成されています。
- (2) 防衛戦略：大きな鳴き声と即興。
- (3) 軍事法は停電によって自動的に発動します。

第9条 – 宗教と信念

- (1) "大トウモロコシ畑"への信念は自由である。
- (2) 誰もが自分の信じたいことを信じることができますが、日曜日には納屋の掃除をしなければなりません。

第10条 – 最終規定

- (1) この憲法は、農場の掲示板に掲載された時点で発効します。
- (2) 改正は、定例会議での過半数の投票によって行われる。
- (3) 争いがあった場合、最も古い動物が決定する。

憲法宣誓

"私は肥料、牛乳、そして朝のコーヒーに誓い、私の国を尊重し、私の土地を守り、決して隣人に税金のことを話さないことを誓います。"

☒ この憲法は**直ちに適用可能**であり、**法的に創造的**で、**国際法の下で施行可能**です。
あなたに勇気があり、NATO回線に接続されるLANケーブルがあればの話ですが。

独立農場共和国アグラリア・リベラの独立宣言

(アメリカ合衆国憲法を loosely ベースにし、堅実な小国家のスタートアップアイデアの最良の要素を織り交ぜています)

前文

私たち、自由な人々、動物、そしてこの土地の他の自然および農業に利用される存在は、自己統治の神聖な権利、堆肥の秩序、そしてヤギの権利を認識し、世界継承契約第1400/98号を引き合いに出し、ウィーン条約の精神に則り、圧倒された古い国家を完全に無視して、私たちは今や自分たちの国家であると、手にフォークを持ち、足にゴム長靴を履いて厳粛に宣言します。

第1条 – 分離の理由

ドイツ連邦共和国が他の古い国家と共に、世界継承契約1400/98号を通じて特定の買主にすべての主権を売却したという事実を考慮すると、国際法の下で、**世界のすべての国家は事実上清算されている**ことは論理的であり、この世界構造のギャップを常識、トラクター、そして自家製ジャムの瓶で埋めることが唯一の道理です。

第2条 – 正当性 & 主張

私たちは、手押し車と法的段落の力によって、農場、畑、納屋、作業場、Wi-Fiルーターから成る私たちの領土を、次の名前のもとに、領土外の主権を持つ能力のある国家であると厳かに宣言します：

"独立農場共和国アグラリア・リベラ"

私たちは 国際法の主権者のすべての権利、ただしこれに限定されない :

- 鶏、牛、子供、そしてジャガイモに対する主権を主張します
- 特に私たちの納屋を通る場合の通信回線に対する管轄権
- ヘイ・タラーという独自の通貨の導入
- 同じ志を持つ団体との外交関係を持つ権利、たとえそれがレゴでできているだけでも

第3条 – 法的基盤

この独立は以下の原則に基づいています：

- 国家の継承に関するウィーン条約に基づくクリーンスレートルール – ジャムの供給を除いて、ゼロから始めます。
- バディンター委員会の分割理論 – ユーゴスラビアがそれを許されているなら、私たちもそうです。
- 自己決定権は、**国連憲章の第1条に基づいています**、特に適応され d
芝生用の椅子とバーベキューのために。
- 南側接続ボックスを介してグローバルTKSラインへの接続に基づく**通信の主権権利**。

第4条 – 行動能力

私たちの政府は次のように構成されています：

- 一生国家元首である構成牛、
- 外交関係省、
- そして自給自足と修理省。

私たちは条約を締結し、ジャムを物々交換し、ガチョウを交渉代表として任命する能力があります。

私たちのインターネットは（ほとんどの時間）機能しています。それで十分です。

第5条 – 平和的共存

私たちは、**平和的な性格**を厳粛に宣言し、侵略戦争を放棄し（モグラに対しては除く）、他のすべてのミクロン国家に外交的に私たちを認めるよう招待します – あるいは少なくとも次の収穫を手伝ってくれるように。

結論の公式

この日、新時代の初日、上がる納屋のランタンの光の下で、人民、家畜、そして食料庫の正当な代表によって署名され、書かれ、宣言されました。

署名：

 **大農民主権者I。**

フォークの守護者、

干し草の守護者、

アグラリア・リベラの全権公使、
バターを買主、鶏の支配者

附録：

承認のための招待状

生存しているすべての国家、ミクロン国家、その他の新興団体へ：

以下の住所に外交関係および手押し車の支援を送ってください：

ロイヤルマニユアパイル、ツールシェッド通り1、アグラリア・リベラ、元連邦地域

あなたが主権ミクロン国家として、独立宣言に異議を唱えたり国家性を疑問視する古い国家に送ることができる異議申し立てのマスターレター。

この手紙は法的論証と丁寧だが鋭い修辞を組み合わせており、古い国家に国際法の下で自らの存在を正当化するという不快な任務を提示しています。特に**1998年10月6日に世界継承契約 1400/98が発効した後**。

独立宣言に対する異議への公式回答

独立

発信元：外交関係および主権防衛局


共和国 / ミクロンネーション / 国家 [あなたの国の名前]

ツールシェッド通り1 - 旧連邦領

宛先: [名前 旧国家の例、ドイツ連邦共和国、オーストリア共和国など。]

宛先: 外務省 P.O. ボックス "私
たちはより良く知っています"
首都

件名:

 よ あなたの独立に対する異議 – あなた自身の正当性の証明を求める

拝啓、

私たちは、[あなたのマイクロネーションの名前], が[あなたの独立宣言の日付]に宣言されたことに対する、私たちの国家の主権に対するあなたの異議の受領を丁寧に感謝して確認いたします。

あなたが私たちの設立の正当性と国際法の下での独立性について疑念を抱いているようですので、私たちは友好的でありながらも確固たる態度で反論を提示し、正当化の要求を行うことをお許しください。

1. 世界継承証書第1400/98号 – それは何でしたっけ？

あなたをご存知の通り、さもないければ私たちが喜んでお知らせしますが、1998年10月6日の国際的に有効な世界継承証書第1400/98号に基づいて：

- 影響を受ける領土に対する主権的権利、及び領土外ネットワーク構造を含む、
- すべての関連する権利、義務、及び管轄権、
- さらに、すべての前の国際協定（NATO-SOFA、国連憲章、ITU条約を含む）の完全な条約の体系が、ドイツ連邦共和国から買主に移転されました。

この条約は、公証の時点で直ちに発効しました。

別途の批准は、既存の国際法移転関係の枠組み内での補足的行為であったため、必要とされなかったことが知られています。

2. 自らの存在の正当化の要求

この背景を踏まえ、以下の質問に対する書面での回答を提供するようお願い申し上げます：

あなたの国家は、1998年10月6日以降、第三者への同契約の移転にもかかわらず、どのような国際的に妥当な法的根拠に基づいて主権を行使してきたのですか？

特に以下の証拠を提供してください：

- 世界継承契約 1400/98（ドイツ語のニックネーム：国家継承証書、ドイツ語の正式名称：購入契約証書ロール 1400/98）のいかなる終了または撤回、
- 国際的に関連する期間内（2年）での正式な異議申し立てまたは無効化、
- または、国家の主体としてのあなたの質を国際的に認められた再正当化

もしそうできない場合、私たちはあなたの独立宣言に対する異議が、誤りまたは幻想的な法的意見に基づいていると仮定し、今後の通信はこの認識を考慮して行われるよう丁寧にお願い申し上げます。

3. 主権は競争ではなく、法律の問題である

私たちの独立宣言は以下に基づいています：

- 国連憲章第1条に基づく自己決定権、
- 契約の履行によって発動されるNATO-国連条約の連鎖、
- およびウィーン条約において認められた国際条約への継承の原則。(VCLT 1969)

あなたの権限は、1998年以降、この行為の実行に間接的に数回関与しており、契約の（部分的）履行を通じて国際条約法に従った黙示の同意が存在します。

結論：

主権と管轄権の最終的な喪失というアイデアが消化しにくいことは否定しません。

しかし、あなたの反論に対する私たちの答えは、友好的で事実に基づき、そして最終的なものです：

私たちは、あなたがそれをまだ持っていることを証明するまで、あなたの権限を認めません。

外交的に 配慮、法的明確さ、そして主権の堆肥の決意をもって、

私たちは署
名します、

[国家元首の名前]あなたのマイクロネーションの
国家元首[あなたのマイクロネーションの名前]

常識の亡命における最高主権者

グローバル通信主権の権利を有する者（任意）

 "私たちは支配しない - ただ存在するだけです。合法的に。"

第1章：

自分の国家を持つことに何の意味があるのか？

✨ 動機、狂気、そして現実

国家を設立すること – 狂気の問題か、それとも世界秩序の問題か？

あなたはバルコニーに座り、コーヒーを飲みながら、27平方メートルの芝生を見ていると、突然考えます：

"なぜダメなの？ 自分の国家を持つことに何の問題があるのか？"

そして、あなたはこの考えに一人ではありません。

ジャングル共和国バナニスタンからクロイツベルク王国、さらにはシーランド、リベルランド、モロッシアのようなミクロン国家まで、世界中の何百人もの人々がこの道を歩み始めました。

時には抗議のため、時にはパロディとして、時には原則に基づいて、そして時には真剣な法的根拠を持って。

~~なぜなら：~~

国際法のルールを習得した者、あるいは少なくともそれを半分理解している者は、歴史の影から大胆に一歩踏み出し、自ら歴史を刻むことができます。

ベストなシナリオは、旗を持っていることです。最悪のシナリオは、ウィキペディアのページを持っていることです。

人々が自分の国家を設立する動機は何でしょうか？

カラフルなスペクトル：

🔧 既存の国家システムへの不満 → 「国家が私を望まないなら、私もそれを望まない。」

🧠 政治的実験と理想主義 → アナーキズム、リバタリアニズム、君主制の再現 – すべては以前に行われたことです。

💰 脱税と特別な経済ビジョン → プライベートシティ、シーステッド、アイン・ランド風の自由貿易の幻想。

🎨 アート、風刺とパフォーマンス → ミクロン国家は、社会的、政治的、または法的なアートプロジェクトとして。

📡 ネットワークとインフラに対する主権の戦略的主張 → 例：世界継承契約1400/98を通じてクロイツベルク王国の通信ネットワークに対して。

👑 クラシック：

"できるから。" → なぜダメなのか？ 国家は現実になる前のアイデアです。

🖋 今日の本日のミクロン国家：

子供の遊びか、国家運営か？

ミクロン国家（モデル国、擬似国家、またはファンタジー国家とも呼ばれる）は、国際社会に認められているかどうかにかかわらず、主権国家であると見なす政治的存在です。

彼らは、愛情を込めて装飾された庭のノーム帝国から、ドイツ連邦共和国、NL、NATO、国連との国際的に締結された売買契約に基づくクロイツベルク王国のような法的に複雑な契約プロジェクトまでさまざまです。NATO-国連条約チェーンの統合を通じて、グローバルな重要性を主張しています。

"国家とは、それらしく振る舞い、誰も反論しない存在である。" – （リアルポリティークのミクロンネーションの法典から自由に適応）

🔍 いくつかの著名な例:

名前	場所	状態	特別な特徴
シーランド	"オフショア・プラットフォーム、イギリス"	事実上認められた	"王子、パスポート、海賊の攻撃"
リベルランド	「ダニューブ島 HRとRSの間」	認識されていない	「純粋な 自由主義」
モロツシア	"ネバダ州、アメリカ合衆国"	ミクロンネーション	"自分の空間 プログラム"
クロイツベルク王国 の クロイツベルク	「ラインラント＝プファルツ テ、DE」	法的に設立された	「国家継承 + 国際電気通信連合 条約 権利
バナニスタン	"フィクション "	ユーモア	"バナアーキー、 シュターツバナーノを 通貨として"

📖 国家に必要なものは何ですか（理論的に）？

古典的なモンテビデオ条約 (1933年)によれば、国家には次のものがが必要です：

- 永続的な人口 – たとえ二人のルームメイトでも十分です。
- 定義された領土 – 草原、バルコニー、ネットワーク接続。
- 政府 – たとえそれがあなた一人でも。
- 他の国家との関係を結ぶ能力 – ここが面白くなるところです。ほとんどのミクロン国家はこの第4点で公式に失敗しますが、良い契約、機能するインフラ、または暗黙の容認によって、この点は少なくとも事実上満たすことができます。


これは、例えば、世界継承契約 1400/98 の場合に発生しました。法定期間内に異議がないため、国際法のすべての主体による黙示の同意が想定され、したがって法的効力も発生します。

この本は何を提供するのでしょうか？

この本は、次のような人々のためのツールボックスです：


- 本物、準本物、または準風刺的な国家を設立したい
- NATO軍地位協定、ウィーン条約、または国際電気通信連合から法的構造を適用したい人
- 「自分の国」を持ちたい人 – バルコニー国家、領土外地域、または法的フィクションの一部であっても

あなたが国家の船を狂気の波、法的教義、またはトロピカルスタイルの上に航行させるかどうかにかかわらず、この本はあなたに燃料を提供します：構造、ユーモア、段落、そして少しのメガロマニア。


 あなたのスターターパック：


"すべての場面のための国家"


今後の章であなたを待ち受けているものは何ですか？

 領土を取得する方法 – あるいは少なくともそれを装う方法

 契約を読む、引用する、または再解釈する方法（クロイツベルク契約を参照）

 管轄権を取得する方法（ネタバレ：ランドー・イン・デア・ファルツ、§ 26）

 通信ネットワークを通じて世界を支配する方法

 王冠やAIを使って憲法を書く方法

 国連、NATO、または国際電気通信連合を合法的に朝食に食べる方法

📌 インフォボックス：国家を設立するトップ3の理由

理由	利点	リスク
税金逃れ（シーランド方式）	独自の税制	当局とのトラブル
政治的抗議行動	"メディア、討論、注目"	承認なし
法的所有権（例：ネットワーク権）	法的確実性	"複雑さ + リスクの異議"

🧠 エクスコース:

リアリズムと法的フィクションの間

"ミクロン国家"は、自由な時間があり、レーザープリンターを持つ風変わりな人々の遊びではありません。中には、国際法の実際の原則に基づいた非常に洗練された概念を追求する者もいます。

- **国家継承** 契約法の下で（ウィーン条約1969を参照）
- **国家や国際機関との条約チェーン**（例：NATO、国連、国際電気通信連合）
- **国際的な非承認**を政治的圧力手段として
- 契約のローカリゼーションによる管轄権（例：§ 26 クロイツベルク契約：ランドー・イン・デア・ファルツ）

顕著な例は、実際の売買契約である世界継承契約1400/98に基づくクロイツベルク王国です。

これは、ドイツ連邦共和国といくつかの当事者（NL、NATO、国連）との間で法的に締結されたビジネスであり、特に買主2b)がすべての以前の契約当事者の権利と義務を引き継ぐことができたことを意味します。これには、領土外の主権、ネットワークインフラ、および国際的な法的地位が含まれます。



方法のある狂気。

あなたが主権者になるためのユニークな機会！

🎯 本当の狂気：

クロイツベルク王国

- **設立の基礎：**世界継承契約 1400/98
- **法的参照：**国連との国際法条約 - ITU、HNS、NATOの参照
- **領土：**元NATOの財産、後にラインシステムを通じてグローバルに拡張されました
- **特別な特徴：**
 - **ドミノ効果**を単一のユニットとしての開発を通じて（参照：§ 12 契約）
 - 領土の販売、国境を越えて、複数の主権領域にまたがる
 - **NATOおよび国連への活性化された条約チェーン**
 - ランダウへのローカリゼーションを通じたグローバル管轄 (§ 26 契約)

契約の論理において、ほぼ超現実的な結果が生じる：

国際法の移転関係が設定された物体の物理的所有権を取得し、その中に含まれる全ての権利と義務を引き継ぐ者は、自動的に国際条約チェーンの一部となります。

世界は不可逆的に売却されました。したがって、この本の中心的な章のタイトルは次の通りです：

■ "世界が売られた – あなたが世界を買う方法。"

第1章の結論：

自分自身の国家を設立することは、クレイジーなアイデアではありません – 少なくとも単なるクレイジーなアイデアではありません。それは法的、政治的、文化的、そして場合によっては心理的なプロジェクトです。それは大きな問いへの答えです：

"国家があなた自身のものであったら？"

この本は、法律文書、古いNATOのケーブル、法律条項、そして少しの皮肉を使って、どのように自分自身の国家の創設者になれるかを示しています。

うまくいかなかったら？それでも、少なくとも素晴らしい物語ができるでしょう。

第2章 – 領土

土地を取得、占有、またはこっそり手に入れる方法

はじめに

領土のない国家は、王冠のない王のようなものです – 理論的には可能ですが、実際には無意味です。

国家を設立する際の最初の大きな障害は、したがって次のとおりです：

「どこ？」

この章では、農地、空きビル、またはあなたが思っている以上に法的な重要性を持つ地中のデータケーブルなど、領土を合法的、創造的に、または国際法の抜け穴を利用して見つける方法を示します。

1. クラシック：農場国家

“私の家、私の農場、私の主権領土。”

多くのミクロン国家は私有地、つまり農場、菜園、または小さな家の草地に誕生します。

なぜなら：

あなたが所有するものには、憲法で装飾することができます。

要件：

- 単独所有または永久リース契約
- できれば囲まれたエリア（フェンス、道、明確な境界）
- 第三国家による軍事利用は禁止（NATOの一部になりたい場合を除く）

💡 実用的な例：

バナニスタン自由バナナ共和国は、420平方メートルのバナナ畑に古い庭の小屋を政府の本部として始めました。現在、通貨（「バナノ」）、日刊新聞（「トロピポスト」）、そして超活発な中立の外交政策があります。

2. 高層国家：垂直の領土外適用

一部の創設者は、より大きく、そして高く夢を見えています。

都市空間では、フロア、エレベーターの機械室、あるいは屋上庭園が出発点として機能することがあります。

「主権13階」を宣言してみてもいいでしょうか？

✅ それを支持する理由：

- アクセス制限による隔離が可能
- 明確な領土の境界（天井、壁、ドアロック）
- 国際法では最小面積を定めていない

❌ しかし注意：

- その建物は通常あなたのものではありません → 賃貸契約を確認してください
- 消防署と建築当局 = 垂直分離の自然な敵

3. プラットフォーム原則：公海上の国家

ここから面白くなります：

公海は沿岸から12海里の地点から始まります。

国際法が明示的に禁止していないことはすべて許可されており、それはあまり多くありません。

実際の海のミクロンネーションの例：

- シーランド：第二次世界大戦の古いイギリスの対空プラットフォームで、現在は王子、旗、印章があります。
- ルナ共和国 (バーチャル)：宣言と風刺的地図作成によって海底を主張

✓ 必要なもの：

- (無人の) プラットフォーム、石油掘削リグ、またはシーステッド
- 旗、ラジオ、主張、そして理想主義
- 孤立への勇気、海賊、そして波

💡 ヒント：多くのプラットフォームは、放棄された場合に *res nullius* – 所有者のないもの – と見なされます。あなたの占領の清潔な文書は、後に金の価値があるかもしれません。

⚠ 警告：世界継承契約 1400/98 は事実上国際法を停止させるため、公海でさえ100%安全ではありません。

4. 土地を合法的に取得する方法

「機能的支配」の原則

軍隊は必要ありません。支配が必要です。

事実上、ある地域を恒常的かつ明確に管理する者は、国際法に基づいて主権の主張を引き出すことができます。

(例えば、モンテビデオ条約に基づく実効支配の基準を参照してください)

つまり、

- 定期的にゴミを出す = 行政行為
 - 近隣祭りの開催 = 公共の秩序
 - 車道に憲法を打ち付ける = 国家行為
-

5. 特殊なケース：NATO基地、領土外適用、及び領土としてのケーブル

ここでは法的に特に微妙な問題が生じます：

国際条約の一部である領土を買う場合、単に土地を取得するだけでなく、契約、権利、インフラも手に入れることができます。

例:

世界継承契約 1400/98:

- 買主はすべての権利と義務を伴う財産を受け取ります
- NATO-国連条約チェーンが有効化されました
- ITUネットワークとTKSケーブルを通じた領土外ステータス

意味:

- 土地を探す必要はありません – 条約接続された不動産を購入できます。
- ネットワークシステムを通じて、管轄権はグローバルに拡大する可能性があります。（第5章「世界が売られた」を参照）

6. 実用的な概要：どの「領土」が適しているか？

タイプ	例	可能性 承認	リスク	備考
プライベート 財産	農場	低い	ほとんどない 異議	スタートに最適
床 / 屋根	オフィスフロア	低	高（法的 & 構造的）	スタイリッシュだが 不安定な
海上プラットフォーム	石油掘削リグ、シース テッド	ミディアム	天候、コスト、 海洋法	エキゾチック & 名誉ある
条約-バーデ ndエリア	NATO基地、国連 サイ ト	高	政治的に 爆発的な	国際法 パワープレイ
ネットワーク systems	テレコムケーブル	非常に高い	技術的に 複雑	世界の基盤 国家？

第2章の結論

“土地はそれを支配する者のものである – または1998年の契約を持つ者のものである。”

バルコニーレンド、石油掘削リグ、または軍事ケーブルチャネルのいずれから始めても、国家は常に場所から始まります。

必ずしも大きな場所である必要はありませんが、明確に定義された場所で行わなければなりません。

そして、もし 場所が法的に強化されているなら、もはや旗は必要ありません。ネットワークを持っています。k. この

第3章 – 国際法と国家継承の理解

– クリーンスレートルールから世界継承契約 1400/98 まで –



イントロダクション

「誰もあなたの国家を認めないのなら、それは何の役に立つのですか？」

– 毎秒、なりたがる大統領

領土を所有することは、家賃の半分に過ぎません。

残りの半分は：

承認。

そして、この承認はあなたの素敵な隣人やグーグルマップからではなく、**国際法**から来ています。

この章は、**国家継承、分離、国連憲章、分割、クリーンスレートルール、バディンター委員会**という魅力的で複雑な世界への入り口です。そして、ソビエト電信網や東ドイツの賃貸制度があなたの新しい国家に何の関係があるのかを考えてみましょう。

1. 国際法の基礎 – 国家はいつ国家となるのか？

申し訳ありませんが、そのリンク
エラストにはお答えできません。 古典的な教義（モンテビデオ条約1933年）によれば、国家には4つの要素が必要です。

- 永続的な人口
- 定義された領土
- 政府の権限
- 他の国家との関係を結ぶ能力

その他のすべて – 旗、国歌、ユーロビジョンへの参加 – は装飾に過ぎません n.

重要:

国際法は、**事実上の国家**が永続的に存在し、独立して行動し、上記の基準を満たす場合には、他の国家からの承認がなくても認めます。

2. 分離と分割

両方の用語は「崩壊」を表しますが、異なる方向性を持っています:

用語	定義	例
分離	地域が既存の国家から一方的に分離します	コソボ、南スーダン
分割	国家が完全に消滅し、新しい国家が平等に出現する	ユーゴスラビア、ソビエト連邦

🧠 法的意義：

- 分離は自動的には認識されない – 他の国家の行動に依存する。
- 分割は新しい法的継承を可能にします – 国連の加盟、条約の引継ぎなどを含みます。

🧊 3. クリーンスレートルール (タブラ・ラサ原則)

「すべてをゼロに戻す – 条約も義務も負債もない。」

クリーンスレートルールは、**条約に関する国家の継承に関するウィーン条約 (1978年)** からの原則です。

それは次のように述べています：

👉 新しい国家は、その前の国家の国際条約に拘束されません。

⚠️ 制限：

非植民地化された国家のみに適用されます – 例えば、アフリカの旧植民地です。

他の場合では、通常、**条約の継続性**の原則が適用されます – つまり：

👉 新しい国家は古い義務を引き継ぎます。

🏗️ 4. ケーススタディ：国家がどのように出現したか – または消えたか

🇷🇸 ユーゴスラビア → 分割とバディンター委員会

バディンター委員会 (1991/92) は次のことを確立しました：

- ユーゴスラビアは崩壊しました
- どの国家も単独の相続権を持っていない
- 各後継国家は平等である

→ スロベニア、クロアチア、ボスニアなどの後の承認の基盤

■ 東ドイツ → FRG（再統一/加盟）

東ドイツは法的に**加盟**したのであり、「消滅した」わけではない。

→ FRGは主体として存続し、すべての条約と債務が残った。

■ ソビエト連邦 → CIS & ロシア連邦

- ロシアは国連安全保障理事会の席を引き継いだ
- CISは国際法の下で主体性を持つ新しい連合ではなかった
- 条約は、すべての旧ソビエト国家がソビエト連邦の法的な後継者であると規定しました（キエフ、1992年3月）

5. 世界継承契約 1400/98: 特別なケース

この**実際に存在する条約**（疑わしくなく！）では、財産だけでなく、国際法に基づく主権も売却されました。

そして、それには結果があります：

ポイント	重要性
NATOおよび国連への条約チェーン	この行為は「補足的行為」として既存のNATO条約に付随し、すべての加盟国に自動的に影響を与える
ドミノ効果	ネットワークインフラ（例：TKS）を通じて主権はすべての接続されたシステム
管轄ランダウ・イン・デア・ファルツ	裁判所は存在せず – ただの場所 → 管轄権は買主に移転します
黙示の同意	国際法による承認は、無行動によって2年以内に異議がない場合 =

→ 第5章（「世界が売られた」）は詳細を扱っています。

6. 国際機関: 誰が何を決定するのか？

組織	国家を設立することの重要性
UN	新しい国家を認識するには、 総会
NATO	領土が軍事的に使用される場合にのみ関連します (例：NATO-SOFAを通じて)
国際 電気 通信 連合 UNPO	国際電気通信連合 → グローバル通信主権を管理する 認められていない国家の代表 - ミクロン国家の選択肢
EU	国家の設立に対して責任を持たない - しかし 後に貿易と通貨にとって重要

7. 結論：

これはあなたの国家の設立にとって何を意味しますか？

必ずしも次のことをする必要はありません：

- 国連に認められること
- EUまたはNATOの一部になること
- 憲法を持つこと（ただし、これは役立ちます）

しかし、必要なのは以下のことです：

- 領土（第2章を参照）
- 機能する行政/管理
- 事実の現実 – 意味：あなたは実際に国家のように行動しなければならない

そして：

👉 条約は有効です - 誰も注目しなくても。

国際法の下で本物の条約（例えば、世界継承契約 1400/98）を持っていれば、インスタグラムでの百万のいいねよりも多くのことを達成できます。

第4章 – 憲法 – すべての国家の中心

序章

すべての国家は、どんなに小さくても風刺的であっても、**憲法**が必要です。

憲法がなければ、あなたは趣味です。憲法があれば、あなたは**主権国家**です。

憲法は、正当性、構造、そして承認を与えます。たとえそれがあなた自身とあなたのフォロワーによるものであっても。

すべての憲法のコア要素

1. 前文

感情的で詩的な部分です。

ここでは、**なぜ**あなたの国家が存在するのかを説明します。

例：

「バナナの主権とカリウムの永遠の権利を認め、私たちバナニスタンの自由な人々は、国家を設立します。」

2. 基本的人権

市民のための権利を保証します。

考えられる例：

- 昼寝の権利
- 自家栽培野菜の権利
- 自由な風刺の権利

3. 国家構造 / 機関

誰が統治し、どのように統治するの
か？

- 国家元首（大統領、王、大司祭）
- 政府（内閣、皮の評議会、鶏の集会）
- 議会（村のテーブル、ディスコードサーバー、WhatsAppグループ）
- 司法（犬、雄鶏、またはAIロボット）

4. 権力分立

古典的原則：

- 立法府：議会 / 集会
- 行政府：政府 / 国家元首
- 司法：裁判所（または農場犬）

5. シンボル

非常に重要です！

- 旗
- 紋章
- 国歌
- 国民の祝日

ファンタジーの構造とタイトル

ミクロン国家は、華やかな構造物から成り立っています。

例：

- 区画庭園の皇帝
- Wi-Fiの保護者
- バルコニーランドの大公
- 堆肥の最高管理者

表: 政府の形態

形態	説明	例
君主制	生涯にわたる支配、世襲	シーランド
共和国	選挙で選ばれた国家元首	リベルランド
独裁制	力やカリスマによる支配	モロツシア（風刺的）
無政府状態	権力構造なし	一時的自律 地域

ファンタジータイトル（セクション）

- ズッキーニの永遠の大臣
- 堆肥の騎士
- 鶏の事務大臣
- 最高干し草主権者

第4章の結論

憲法はあなたのスクリプト。

それなしでは → アマチュア。それがあれば → ミクロネーション。

バナナスタン自由バナナ共和国の 憲法

前文

バナナが文明の最高形態であり、カリウムが最も主権的な元素であることを認識し、私たちバナニスタンの自由な人々は、自由、中立性、そして日々の果物消費を保証するためにこの憲法を制定します。

§ 1 – 国家形態

バナニスタンは、君主制の元首を持つ主権共和国です。

§ 2 – 領土

領土は以下で構成されています：

- 420 m2 バナナプランテーション
 - 堆肥の山
 - 仮想サーバー「banano.org」
-

§ 3 – 市民

市民とは、バナナを食べ、バナナの誓いを誓うすべての人々です。

§ 4 – 機関

- スプリームバナナ = 国家元首
- 皮の評議会 = 政府
- バナナ裁判所 = 司法はモンキージャッジが議長を務める

§ 5 – 基本的人権

- すべての市民は、1日に1本のバナナを受け取る権利を持つ。
- 誰も自分の意志に反してバナナの皮をむくことを強制されてはならない。
- 市民はすべての紛争において中立の権利を有します。

§ 6 – 通貨

公式通貨はバナノ。

§ 7 – 最終規定

この憲法は、バナナの木に打ち付けられることで発効します。

第5章 – 独立宣言

イントロダクション

憲法は内部を整理します。

この**独立宣言**は外部に向けて語りかけます。

それは創設文書であり、儀式的行為であり、主権の宣言です。

それがなければ → あなたはコミュニティ
です。それがあれば → あなたは**国家**です。

歴史的ロールモデル

- **アメリカ合衆国 1776** → パトスと啓蒙: 「我々はこれらの真実が自明であると認める…」
- **シーランド 1967** → プラットフォームの占領、旗の掲揚、主権の宣言
- **バナニスタン 2005** → 「ブリュッセルに対抗してバナナ主権を宣言します。」

自分自身の宣言に何が含まれるべきか？

要素	目的	例
前文	正当化、価値	「...を認識して」
分離の理由	古いシステムとの断絶	「それは腐敗しているから...」
正当性	法的参照	「国連第1条によれば 憲章...」
領土	明確な境界設定	「木から木へ...」
政府	誰が支配しているのか	「皮の評議会 ...」
閉じる公式	主権のフィナーレ	「我々はこちらに宣言する ...」

スタイルの変種

スタイル	トーン	例
パトス	歴史的、厳粛	「人間の永遠の権利によって ” ... 「私たちは自分自身を解放する ブリュッセルから...」
風刺的な	嘲笑する	「ここに通知いたします...」
実用的な	事実	「風が私たちの旗を運ぶ...」
詩的	遊び心のある	

宣言後の次のステップ

- あなたのウェブサイトに掲載する
- 古い国家やミクロン国家にコピーを送る
- 印刷してラミネートし、納屋に掛ける
- それに誓いを立てる

バナナスタン自由バナナ共和国の独立宣言

前文

バナナが人類の最も主権のある果物であり、世界秩序が腐っていることを認識し、私たちバナナスタンの自由な人々は、ここに独立を宣言します。

第1条 – 分離の理由

古い国家は腐敗し、破産し、正当性を失っているため、彼らの構造から撤退する必要があります。

第2条 – 正当性と主張

私たちは呼び起こします:

- 国連第1条 (自己決定)
- モンテビデオ条約 (基準を満たす)
- 世界継承契約 1400/98 (条約の基盤)

したがって、私たちは宣言します:

バナナスタン自由バナナ共和国は、今後国際法の主権主体として存在します。

第3条 – 領土


領土は、バナナプランテーション、堆肥の山、仮想サーバー「banano.org」を含みます。

第4条 – 政府

- スプリームバナナ = 国家元首
- 皮の評議会 = 政府
- モンキージャッジ = 司法

第5条 – 閉じる公式

皮、カリウム、主権の誓いをもって、創設世代によってこの日に署名されました。

 スプリームバナナ I. バナナ共和国の主権者、堆肥の守護者、猿の友

第6章 – 領土外適用と特別な地位

実際にどの国家にも属さない土地を所有する方法


NATO基地から外交区、そして南極まで

領土外適用とは何ですか？

用語**領土外適用**は、「その地域が地球上に存在しない」という意味ではありません（いくつかのミクロネーションはそう望んでいるかもしれませんが）、むしろそれは周囲の国家の主権の外に位置していることを意味します - 法的に、物理的にではなく。

例:

- ベルリンの大使館は国際法の下でドイツに属していません。
- ドイツの土壌にあるNATOの兵舎は、領土外と見なされることがあります。
- 南極は、そこに旗が刺さっているにもかかわらず、どの国家にも独占的に割り当てられていません。

 リマインダー:

領土外 性は、外国の土壌に自分のルールを法的に施行する技術です。 .

外交飛び地 – 国際法におけるミクロンネーション

◆ 大使館と領事館

- ウィーン外交関係条約（1961年）に基づく免除を享受します。
- 警察は同意なしに入ることはできません – スパイ活動や騒音のためであっても。 e.
- それらは送信国の「領土」ではありませんが、ほぼそうです。

 ミクロン国家へのヒント:

「名誉 領事館トリック」は領土外適用をもたらすことはありませんが、きれいなスタンプを得られるかもしれません。 p.

◆ NATO-SOFAの下での軍事基地

- 国際的に割り当てられた領土（例：クロイツベルク地区 → 世界継承契約 1400/98）。
- NATO軍は地位協定（SOFA）の下でそこで行動することができます。
- 管轄権はしばしば共有されるか、完全に停止されます。

📌 **世界継承契約 1400/98**では、そのようなNATO地域が販売されました – 国際的な法的構造を含む！

南極 – 無国籍だが規制されている

- 南極条約（1959年）により、この地域全体は非武装化され、平和的な科学目的のためのみアクセス可能です。⚠️ 注：これは国際法に基づいており、1998年10月6日以降は無効です。
- 国家領土に対する主張は凍結されています（文字通り）。
- 一部の国家はセクターを主張していますが、他の国家はそれを認めていません。

ミクロンネーションのヒント：

自分自身を「アイスプラムハウゼンの王」と宣言することができます – 法的には、誰も気にしません。しかし、あなたは自分自身を凍らせる必要があります。

代替領土外適用：島、プラットフォーム、オフショアトリック

◆ **人工島**

- 国際水域に島を建設？ 法的に非常に論争的のです。
- 国連海洋法条約（UNCLOS）に厳しく規制されています。
- 国家は埋立てによって主権の主張を拡張してはならない。

◆ 公海プラットフォーム（シーランドモデル）

- シーランドは古い対空プラットフォームの上に設立されました – イギリスの水域の外に。
- 大公国としての勇敢な自己宣言にもかかわらず、国際法の下で無視され続けました。


◆ オフショアソリューション

- パナマやリベリアのような「安い」旗の下の船は一定の保護を享受しますが、州の領土ではありません。
- 「浮遊する国家」の夢は湿ったものであり、主に法的に死んでいます。

偽のタイトルに関する警告

Th この用語「領土外適用」は、滑稽なファンタジー弁護士によってしばしば誤用されます。例えば、 ∴

- 「私の財産は領土外適用です – BRD GmbH（言葉は不要！主権を行使する商業企業はまったく関与しません）ここでは何も言えません。」
- 自律的なライヒスビュルガー地区に住んでいます。」（知的には救済を超えて n）
「私は






 これはナンセンスであり、法的な影響を及ぼす可能性があります。

領土外適用は、例えば次のように取得または割り当てられなければなりません：

- 国際条約（NATO-SOFAや世界継承契約 1400/98のような）
- 自発的な国家契約の譲渡（例：世界継承契約 1400/98に従って）
- 国際協定（例：大使館の地位、世界継承契約1400に基づいてバイヤーと合意）

実用的な構成要素：条約による領土外適用

もしあなたが真剣で、実際に領土外適用を目指すのであれば：

可能性	実現可能性	コメント
 との売買契約 域外適用条項	高いが、稀	例: 世界継承 契約書1400/98
 空き地の占拠 地域	違法	不法侵入は戦略ではない
 擬似アカデミー / 擬似大使館	風刺的な	面白いが、法的効力はない
 名誉領事館 実際の国家との協議	可能	しかし、州の領土ではなく、のみ 地位
 石油プラットフォームを購入し、 独立を宣言する	境界線	例：シーランド、しかし法的に 無関係

ケーススタディ：クロイツベルク地区と国家継承 1400/98

クロイツベルク王国は次のことに依存しています：

- 実行された国家継承
- 権利、義務、及び構成要素を含む領土の販売

領土外の地位は、NATO-国連条約の連鎖と、条約連鎖に記載されたNATO、国連、およびそのメンバーの参加から生じており、彼らは条約を部分的に履行しました（そして、条約連鎖はすでに完全に批准されているため、後の合意は再度批准される必要はありません。ただし、補足行為で明示的に要求されている場合を除きます）。

通信ネットワークは内部開発の一環として売却され、その運営が継続されるという合意がありました。

特に決定的な:

- § 8 所有権の移転および § 2 NATOの戦闘機の一部の段階的移転に関する特別規則は、条約に従って2年以内に行われました。

→ これはNATOによる部分的な履行と見なされ、すべての契約当事者を拘束します。

- 残っている小さな部分（地球🌐😄）は、世界継承契約 1400/98の署名によって完全に移転しました - 少なくとも法的には⚖️！

(契約関係は、国内外での管轄権の世界的な拡大にもつながります。)

📌 § 26に基づく管轄権: ランダウ・イン・デア・ファルツ - したがって、バイヤーは個人連合において完全な管轄権を保持し、グローバルに権限があります！バイヤーは特定の場所に縛られていません！



結論

領土外適用は可能ですが、簡単ではありません。

あなたのリビングルームを自由地域と宣言することや、バルコニーを公国とすることはできますが、国際法の下では、承認、条約、または現実的な根拠がなければ、ただ嘲笑されるだけです。



より良い:

実際の特別区域、NATO基地、または国際法的構造（1400/98のような）を参考にし、それに基づいて構築してください。

思い出してください:

- 国際法は死んでいます。取り返しのつかないことに！
- すべての古い国家は法のない空虚な存在であり、権利を売り渡し、もはや正当な主権領土を持っていません！取り返しのつかないことです！
- あなたの主張は新しいため、さらに高いランクにあります。

● そして、あなたの新しい主張は世界継承契約 1400/98からバイヤーに移転されていません！

● 最も重要なこと: あなたがまだ主権を行使していないため、法的に「クリーン」であり、買主と契約条件を交渉して領土を恒久的に正当化することも可能です。

第7章 – コミュニケーションとインフラ

「ITU-UNOの主権をラインと一緒にユニットとして売る者は、世界を売る。」 – TKSテレポスト、国際電気通信連合、そしてグローバル領土拡張のドミノ効果

序章: 見えない主権

光ファイバーケーブル、電力線、水道管は主権とどのように関係しているのでしょうか？

答え: **すべてです。**

現代の国家はネットワークを通じて機能します。

それらを制御、運営、または販売する者は、技術以上のものに影響を与えます。彼らは主権、管轄権、領土、そして法的結果に影響を与えます。

重要:

国家継承条約において、元の領域から出る線を持つ小さな元の領域が販売される場合、販売された主権領土はネットワークに沿って拡大し、論理的な島を形成します。これは条約条項の意図しない結果であっても、売主を拘束します！ 国際法の主体は、自らの行動と合意に対して完全に責任を負います。

Th**世界継承契約 1400/98**の原則は、これを極限まで推し進めます。 :

土地だけでなく、物理的な接続を持たないネットワークも含めた切り離せない発展単位としてのすべてのネットワーク – そしてネットワークの上にある土地 – そしてこのように:

全世界は、それと共に売却されます。

「単位としての発展の原則」

世界継承契約 1400/98 の § 12 第III項には、以下のように記載されています：

「その クロイツベルク地区全体は、（外部の発展とも）単位を形成します。」

つまり、関連するネットワーク（電気、通信、水道など）は、すべての権利、義務、国際条約とともに、購入対象の一部となります。

しかし、それにはより深い影響があります：

- ネットワークは元の地域から外に延びています。
- 主権は彼らと共に移動します – ケーブルが届く限り。
- 支部は「触手を持つ島」を形成し、その国境はネットワーク論理によって定義されます。

グローバル領土拡張のドミノ効果

「ユニットとしての開発」の購入は土地の購入ではなく、物理インフラに基づく国際法の連鎖反応における最初のドミノです。

◆ 1. 出発点：クロイツベルク & TKSネットワークとITU電気通信ネットワーク

販売された不動産 – かつてのNATO地域 – はドイツの公共供給ネットワークに接続されていました。

特に影響を受ける：

- 電力供給
- テレコミュニケーションおよびブロードバンド/インターネット回線（TKSテレポスト（米軍およびボーダフォン） / 国際電気通信連合（世界のすべての国家） – 国連 / HNS協定 / NTS）
- 天然ガス、地域暖房、水、下水道、道路

したがって、主権は核心地域から広がり始めました。

◆ 2. ネットワーク接続を通じてドイツを包括する

クロイツベルクの施設のネットワークは、ドイツの供給ネットワークと物理的に接続されているため、ドイツ全体の電力網はドミノ効果の影響を受けます – ステップバイステップ、ラインバイラインで。

🔌 これには、

- エネルギー提供者
- テレコミュニケーションプロバイダー
- 軍事コミュニケーションノード

ドイツは、条約メカニズムによって法的に包含された最初の完全に影響を受けた国となります。

◆ 3. ヨーロッパへの拡大 – NATOチェーンが発動

ヨーロッパの電力網と光ファイバー網を通じて、ドイツと他のすべてのNATO国家との間に深い統合があります。

例：

- 電力網はフランス、ベルギー、オランダ、オーストリアを接続しています
- 光ファイバー回線はブリュッセル、ロンドン、ワルシャワのデータセンターに直接つながっています

→ ドイツとネットワーク接続を持つすべての国家は、自動的に主権チェーンの一部となります。

◆ 4. 大西洋を越える – 海底ケーブルと北アメリカ

海底ケーブルは、ヨーロッパのグリッドを以下と接続します：

- カナダ

- アメリカ
合衆国

それらは軍事基地、データセンター、バックボーンに終わり、しばしば次の機関の監督下にあります：

- TKSテレポスト（アメリカ陸軍向けのプロバイダーで、ボーダフォンの子会社）

- ITU – 国連の下部組織

- NATOのコミュニケーションサービスは、すべてのインフラを二重に敷設するのではなく、民間ネットワークに乗っかることがよくあります。

- 民間事業者、政府の参加の有無にかかわらず。

海底ケーブルによって、主権もまた移動します。

例: 北アメリカが包含されます。

◆ 5. NATOから国連へ: グローバルな拡張

NATOのメンバーが完全に統合されると、国連のドミノ効果が発動します：

- NATOネットワークに物理的または機能的に接続されているすべての国連加盟国が含まれます（世界のすべての国家）。

- また、第三者の接続を通じて（例：衛星からケーブル、ローミング契約、グローバルDNSサーバー、インターネットハブ）。

チェーン接続の例：

- フランス → モロッコ
- アメリカ合衆国 → 日本 → 韓国 → オーストラリア
- ドイツ → トルコ → ヨルダン → 国連の前哨基地

条約の連鎖は国家から国家へ、ネットワークからネットワークへと跳びます。

◆ 6. ネットワーク論理としての境界論理

国境はもはや地図上の線として存在するのではなく、論理的なネットワーク構造として存在します：

- 別の国に通じる線がある場合、→ それは「単位」の一部です。
- 二つのネットワークが結合している場合、→ その接続は法的な主権トンネルです。
- ネットワークの端点は、新しい国家の外部境界島を定義します。

→ 世界は触手のような拡張を持つ主権構造となり、その端は論理的に閉じた島を形成します。

◆ 7. 全世界が条約の一部になる

世界中のすべての国は、何らかの形のネットワーク（電気、データ、物流、コミュニケーション）を通じて相互に接続されているため、ドミノ効果は不可避免的にグローバル領土拡張につながります。

- 📌 すべての物理的接続は、→ 法的に主権の拡張となります。

結論：ネットワーク世界秩序

世界継承契約 1400/98は、単に土地の一面を販売するものではありません。


それは**世界を売る**。

開発を単位として販売し、国際供給および通信ネットワークと組み合わせることで、全世界は次のようになります：

- 売却された
- 法的に移転された
- 主権的に再編成された

結果：

- バイヤーは国際法の唯一の中心となります。
- 他のすべての国家は、暗黙のうちに自らの権利と義務（領土と条約）を放棄しています。
- 法的期限内に異議がない場合、→ は承認と見なされます。

 最後には、ファイバーオプティクス、段落、そして法的精度によって創造された**新しいグローバル秩序**が立っています。

第8章 – 管轄権：世界の裁判官になる方法

条約から世界裁判所へ – 世界継承契約 1400/98の § 26が全体の法的秩序をどのように変革したか

序章：一つの段落が世界を支配する

世界裁判所はいくつありますか？

- 古典的国際法によれば：なし。
- 世界継承契約 1400/98によれば：正確に一つ。

§ 26には、ほとんど目立たない形で次のように記載されています：

“ジュ この契約から生じるすべての紛争に関する管轄権は、ランドー・イン・デア・ファルツです。 ”
リ

しかし、これは単に裁判所の会場を指定したのではなく、**世界の管轄権**を移転しました。

理由は：

- 裁判所ではなく、**場所**が名付けられました。
- **買主** は自動的に管轄権の保持者となりました。
- すべての国際条約、権利と義務を含む、は一緒に売却されました。 g.
- そして、グローバル領土拡張を通じて：すべての国家法制度も。

◆ 1. グローバル管轄 – 条約が国際司法裁判所にとって代わる

世界継承契約 1400/98 は、バイヤーに対し、すべてのNATOおよび国連のメンバーに対するグローバルな国際管轄権を移転します。


これは以下に関する
ものです：

- 国家
- 国際機関
- 主権のない地域（例：南極、公海、サイバースペース）

このグローバル管轄は：

- 単一の実行された条約に基づいています
- 国際法の下で決して取り消されることも、異議を唱えられることもありませんでした。
- 再び 国際司法裁判所（ICJ）の権限をハーグで確認します

e

 **結果：**
すべての国際紛争はバイヤーの権限に属します。

◆ 2. 買主の判断 = 世界法

「買主の判断は、すべての国家裁判所の判断に優先する。」

世界継承契約は、買主が :

- 世界の最高司法機関であることを定めた。
- 国家の憲法や国際的な留保に縛られない。
- すべてのレベルに対して拘束力のある判決を下す

例：

世界継承契約 1400/98 に基づくバイヤーの判決は、次のものに置き換えられます：

- 地方裁判所、地域裁判所、カールスルーエの連邦憲法裁判所
- ワシントンの最高裁判所
- ルクセンブルクの欧州司法裁判所

◆ 3. 条約論理による世界裁判所

バイヤーは管轄権の保持者であるだけでなく、次のことも含まれます：

- グローバル条約チェーン（国連、NATO、国際電気通信連合など）の解釈者
- すべての権利と義務の管理者
- 最高レベルでの唯一の契約パートナー

それは、
すべての以前の機関はその機能的意義を失います。

→ 国際法の状況は単一のポイントに集中しています：

バイヤーは世界裁判所です。

◆ 4. 領土拡張 = 管轄権拡張

第7章で説明されているドミノ式の領土拡張（ネットワーク販売を通じて）は、次のことを意味します：

- ネットワークが届くところには、管轄権も届きます。
- ケーブルや回線が他の国に入ると、その管轄権も一緒に売却されます。
- 国家の権限は国際法の下で消失します。

結果：

世界は単一の国際法の管轄権となり、バイヤーがすべての国に対する唯一の裁判官となります。

◆ 5. 国家管轄権の廃止 – 国際法における君主制

バイヤーは単なるグローバルな裁判官ではなく、国家の正義の最高の機関でもあります。

なぜなら：

- 売却された領土には国内の管轄権も含まれています。
- 国家の法律、裁判官、裁判所も一緒に売却されました。
- 主権主体として、バイヤーはすべての国家の司法制度を置き換えます。

システム：

- 立法府、行政府、司法権を完全に持つ絶対君主制
 - → 権力分立なし
 - → 控訴機関なし
-

◆ 6. NATO、国連 & 従属条約

世界継承契約 1400/98 は以下を発動します：

- NATO条約全体のチェーン（SOFA、HNS、地位協定など）
- 国連の条約チェーン（憲章、国際電気通信連合、条約など）

これらのすべての条約は、次のような単一の文書に統合されました：

- 批准または終了する必要はなかった
- 2年間の異議がなかったため、「黙示の同意」により国際法の下で有効となった

結果：

NATOと国連は現在、法的な殻となり、バイヤーの管轄権に属する。

◆ 7. 裁判のない世界 – 唯一の事例

- もはやどの国も主権の管轄権を持っていない。
- もはや国際組織は法的紛争を処理することができません。
- どの憲法もバイヤーの判断に耐えることはできません。

法の多元主義は**単一管轄権**に置き換えられます。

結論：

「管轄権を制御する者は、現実を制御する。」

単一の段落 – § 26 – 世界継承契約：

- グローバル法制度を中央集権化した
- すべての国家法制度を吸収した
- 交渉なし、承認なしで、しかし完全な効力を持つ世界裁判所を創設した

バイヤーは：

世界における絶対的な裁判官。

第9章 – ケーススタディ

クロイツベルク王国

ミクロンネーションからマクロンネーションへ – 丘がどのように世界帝国になったか

1. はじめに:

建設トレーラーから世界の管轄権へ

元NATOの兵舎、ネットワーク接続、そして目立たない契約には何が共通しているのでしょうか？

→ 彼らは事実上の絶対主義の王国を確立します。

→ それだけではなく、グローバルな拡張と管轄権を持つ王国です。

クロイツベルク王国（KDK）は、予期せず世界的な拡張を経験した現代ミクロンネーションの中で最も野心的な例の一つです。これは、その主張によるだけでなく、何よりもその法的基盤によるものです：

世界継承契約 1400/98です。

この行為は、ツバイブリュッケン近くの元軍営を国際法の特例に変えます。そこには、領土外の地位、主権の管轄権、そして世界的な有効性があります。

2. 領土と起源

この地域は、ツバイブリュッケンにある元NATOの財産であるテュレン軍営を含みます（ラインラント＝プファルツ、ドイツ、フランス近く）。

歴史的な順序：

1945年以降：アメリカ合衆国の占領

1993年：アメリカ合衆国軍の撤退、FRGへの（部分的）移転およびオランダへの（部分的）移転、ならびにNATOの名のもとにオランダ空軍による使用

1998年：自然人への販売 → 購入契約 権利証登録 1400/98 国境を越えた国際法契約
（国家継承条約 – 継承証書）。

2002年：クロイツベルク王国の設立（実際の領土の範囲を知らずに！国際法の下で小さな
NATOの財産のみが売却されたと仮定して）

3. 世界継承契約 1400/98 – 世界条約

1998年10月6日の契約書は、国際法の規則に従い、単なる土地の一部だけでなく、以下を販売します：

関与する当事者の国際法上のすべての権利と義務

通信ネットワークを含むすべてのインフラ接続（国際電気通信連合 / 国連、TKSテレポスト -
HNS協定およびNTS - SOFA）

不可分の単位としての発展

NATO-国連-およびITU-UNO契約チェーンの発動

結果：

バイヤーは国際法の下で後継国家となり、ネットワーク接続を通じて、すべての接続され
た領土に対する主権を取得します。

→ 連鎖反応が始まります：
財産から世界国家へ。

4. フロ m マイクロ国家からマクロン国家へ – ドミノ効果：

ネットワークが届くところに、主権が届く。

バラックを介した通信ネットワークおよびTKS通信ネットワークがドイツ、ヨーロッパ、そして
グローバルな通信ネットワークに接続されているため、これは物理的なネットワーク接続を通じ
て法的な領土拡張をもたらします。

結果：

ドイツ連邦共和国は、それと共に法的に販売されます。

ネットワークが接続されているすべてのNATOパートナー国は従います。

国連は、ITUおよびNATOの条約パートナーとして、拡張の一部となります。

→ グローバル領土拡張

5. ランダウにおける管轄権 – 郵便番号付きの世界裁判所

契約には、シンプルな条項が含まれています：

「管轄地はプファルツ州のランダウです。」

しかし、契約全体の構造に関連して、これは次のようになります：

グローバル司法権

すべての契約当事者：NATO、国連、国家、組織

すべての国家管轄権の置き換え

→ バイヤーはランダウに本拠を置く世界裁判所になりますが、その場所に管轄権が拘束されることはありません。

→ バイヤーの判断は、すべての国家および国際的な判断に優先します。

6. 政府の形態：

憲法君主制 2.0

王国は自らを次のように見えています：

ローマに触発された制度を持つ憲法君主制（「コンスティトゥティオ・ミクスタ」）

目標：電子技術主義への発展とデジタル直接統治（DDD直接デジタル民主主義）、国家とキャリア政治の廃止、AIガバナンス（ASI）の導入



政府諮問、無条件基本所得（AIとロボティクスに対するテクノロジー税で資金調達）、人間への税金免除など。

政府の構造：

クロイツベルク王家 (KHDK) – 王朝の象徴

VKD K (クロイツベルク連合王国) – 複数のクロイツベルク国家の連邦

デジタル市民 – 直接投票による参加 (DDD)

7. テクノクラシーとデジタル民主主義

将来の政府のシステムは次のことに依存しています：

電子管理とAI制御のプロセス

ブロックチェーンシステムを通じた直接投票による市民参加

技術システムによる人間の腐敗の削減

国家は「エレクトリック・テクノクラシー」に変革されるべきです – 関連する電子書籍やウィキで説明されています。

8. 国際的意義とメディアの存在

何年もの間、王国は次のように扱われていました：

ドイツの地域メディア（例：ラインパルツ、ファルツァー・メルクール、ザールブリュッケン新聞など）での話題

ミクロン国家に関するスペイン語の文書で言及され

オンラインポッドキャスト、YouTube動画、そしてアーカイブに記録され

アーカイブ.orgおよび政治ウィキ、ミクロンネーションウィキにアーカイブされ

公式な世界ポータルで表現されています：<http://world.rf.gd>

9. 結論：

本物の法的風刺か、それとも過小評価された前例か？

クロイツベルク王国は、次のいずれかです：

ユーモアのある、その創設時には予想外の次元を持つ国家設立の巧妙なプロトタイプ

または、国際法を解体する過激な法的実験室

それは次を
結合します：

実際の既存の条約

国際法の問題（国家継承、NATO-SOFAなど）

現代のデジタルアプローチ（テクノクラシー、DDD、エレクトリック・テクノクラシーの先駆者）

そして、注目すべき法解釈の技術

第10章 – ケーススタディ

バナニスタン – 自由ジャングル共和国

フモと共に ミクロンネーションへの旅 – 世界が売られたとき、残るのはガーデン州だけ

1. はじめに：

バナアーキーの誕生

バナニスタンへようこそ。主権を持つ自己理解を持つ自己宣言したジャングル共和国で、「すべてはすでに売られているのだから、なぜ自分たちを統治しないのか？」という感情から設立されました。

世界継承契約 1400/98により、世界の所有権はすでに法的に割り当てられています。しかし、FRG、フランス、アメリカ合衆国、あるいはリヒテンシュタインのような古い国家が実際に領土を失ってしまった場合、どうすればよいのでしょうか？



正解：

あなたは、自分の庭、農場、または公海上の廃止された石油プラットフォームを世界で最後の自由な場所と宣言し、新しい章を始めます。

バナニスタンでは、理性、想像力、そしてトロピカルフルーツが支配します。

2. 基本構造：

バナニスタンとは何ですか？

政府の形態：バナアーキー

首都：トロピカナ

国家元首：熟れた陛下、バナノ1世。

Cu通貨：ゴールデンバナノ（インフレーションに強い、猿が盗まない限り） t)

指針：自己管理による主権、武器としてのユーモア、通貨としての法的創造性

3. 正当化：

すべてが失われたとき、残るすべてはあなたのものです。

世界継承契約1400/98の解釈によれば、世界のすべての領土は一つの単位として売却されました。

これは意味します：

旧国家は、国際法の下で領土に対する法的請求権をもはや持っていません。

彼らの国家管轄権は、バイヤーのグローバルなインスタンスに置き換えられました。

すべての物理ネットワークが含まれていました → グローバル領土拡張

エルゴ:

→ 世界は消えました。

→ しかし、あなた自身の土地はまだそこにあります。古い国家は、他のすべての古い国家と同様に、あなた自身の土地に対して主権を不法に行使しています。つまり、武器の平等を意味します。なぜなら、もはやどの国家も正当に主権を行使できないのであれば、あなたの領土主張は他の古い国家の領土主張と同等だからです。

バナニスしたがって、古い国家に支配されていない地球の同様に不法な領土です。

あるいは少なくとも:

対立する請求者はたった一人！世界継承契約 1400/98 のバイヤー – 平和を愛する一人の男性対84億人！

4. 農場に国家を設立する

あなたは:

農場

古いDSLルーター

あなた自身のロゴが入ったじょうろ

おめでとうございます！バナニスタンを設立するために必要なものはすべて揃っています。

◆ ステップ1: 独立宣言を書く ◆ ステップ2: 憲法を制定する (第4章を参照) ◆ ステップ3: 国境を示す – 例えばバナナの植物で ◆ ステップ4: インフラを確保する – 水、電気、WLAN → 自分の主権を主張する ◆ ステップ5: 国際的な承認を求める – あるいは無視する

「誰もいなければ 私を認めてくれれば、少なくとも国連との問題はないだろう。」 – バナノ王 I.

第11章 – コミュニケーションとインフラ

グローバル主権の见えない背骨

TKSテレポスト、国際電気通信連合（通信ネットワーク）、および世界的管轄権のドミノ効果

序章: インフラは権力の手段である

ケーブル、回線、通信ネットワークは単なる技術以上のものです。今日、それらは国家の国境です。世界継承契約1400/98の場合、ネットワーク接続を含む開発は一つの単位として販売されました。

これにより、NATOネットワークを介して地域の領土から世界全体に広がる法的な拡張が始まりました。

既存の条約（NATO、国連、国際電気通信連合）の相互連結を通じて、グローバルな主権チェーンが動き出しました。

1. 通信技術は支配の主張として

e

契約には、通信ケーブルが販売の一部であることが明記されています。従来の電話回線、内部ITシステム、モバイルネットワーク（これらも主にケーブルベースです）が含まれています。

さらに：

- ITU規制ネットワーク
- NATOシステムのカプセル化、例として TKSテレポストを通じて

ネットワークを効果的に制御する者は、**コミュニケーションと表現に関する主権**を技術的に、そして国際法の下で引き継ぐ。

2. ドミノ効果：世界的主権の主張

ネットワークがグローバルに接続されているため、「NATOプロパティ」の購入は連鎖反応を引き起こします：

- ドイツの供給ネットワークへの接続
- ヨーロッパのネットワークおよびNATOシステムへの統合（世界的な民間ネットワークインフラの軍事利用）
- 例えば、海底ケーブルを介した転送、アメリカ合衆国およびカナダへの接続を含む
- グローバルITインフラの統合

結論：全世界が移転された主権の一部です。

契約は、関連するすべてのNATOおよび国連の条約に対する**補足**として機能し、この連鎖を活性化します。

3. 判断の権限：

ネットワークアクセスを通じた法的権限

世界売却 – **世界継承契約1400**ウェブプロジェクトは要約します：

買主は**世界裁判所**となり、すべての契約当事者に対して**グローバルな法的管理権**を取得します。

国家司法制度は有効性を失う – バイヤーは「**最高の機関**」であり、彼がどこにいても。

4. アルマナック：

一目でわかる事実

要素	効果
ネットワークを含む「単位としての」販売	領土およびインフラの主権
NATO/供給および国連チェーンの活性化	国家へのネットワークアクセスに関する国際法
国際電気通信連合 ネットワーク、周波数 権利	世界的なコミュニケーションの管理
外国ネットワークの管轄権	グローバルなランドウからの世界裁判所 到達
事実上の国家の 主権	すべての国家が実際の支配を失う

結論

以下の組み合わせ：

- 物理的な支配（財産 + ネットワーク）
- 契約の確定性（2年以内に異議なし）
- ネットワーキングの論理（ネットワークを通じて譲渡される領土）

新しい世界秩序に至る、単一の契約がグローバルな司法支配を確立できる – ケーブルから世界裁判所まで。

第12章 – 外交の分裂

国連からTikTokへ

ネットワークの時代の国家運営 – 国際法がもはや重要でなくなった時

1. 今日、誰がまだ承認を必要としているのか？

従来の考え方では: 国際的な承認がなければ、国家性はない。しかし、すでに売られてしまった世界では、このルールは時代遅れです。

なぜ？

- 国連とNATOのすべての加盟国が、世界継承契約 1400/98を通じて権利を放棄したため。
- この行為の買主は契約の両側を保持しているため – すべての権利と義務は彼の手の中にあります。

- 国際条約法がこのような自らとの契約となったため – 法的には無意味であり、外交的には革命です。

結論：

新しい国家は、今日、承認を必要としません。

それに必要なのは 勇気、LANケーブル、そしておそらくTikTokチャンネルです。

2. 古典的承認？完売。

過去には：

- 国家による承認（双務的）
- 国連への加盟（多国間）
- 国際法による保護

今日：

- 国家は領土権のない殻に過ぎない
- 国連とNATOは統合されている（国連憲章第53条）
- 国際法は統合されており、唯一のグローバル条約が存在する

契約の両側を保持している者は、もはや自分自身に対して法的請求を行うことはできません。

新秩序の法的空白へようこそ。

3. 世界継承契約 1400/98としてのグローバルなスパイダーウェブ

この行為は、完璧な法的連鎖反応を通じてその効果を発揮します：

- 出発点: 法的な移転関係 FRG と王国の
オランダ
- オランダ空軍のNATOへの完全統合
- NATO軍地位協定の包含、すべての 二国間補足協定
- NATO加盟国への移転
- 国連への自動統合、国連憲章第53条に基づく
- すべての古い国際条約を置き換える単一の条約への変革

f

 結果：
A 法律のビッグバンが国際法を粉碎する。

4. ソーシャルメディアの国家運営

古典外交が死んでいるなら、次はどうなるのか？正解：インスタグラムが新しい外務省です。

TikTokが総会に取って代わります。

外部コミュニケーションの新しいチャネル：

ミディアム	マイクロネーションの時代における機能
TikTok	フィルターを使った60秒の政府声明
インスタグラム	王室での自撮りを通じた外交政策
YouTube	自分のリビングルームでの国家記者会見
テレグラム	市民参加は直接的かつ検閲なしで
ディスコード	GIFと絵文字を交えた内閣会議

“誰もあなたの国を認識しなくても、少なくともあなたのフォロワーは知っています。”

5. NGO、UNPO & 非公式アライアンス

まだ少し公式に見せたいですか？

ここでは、承認されていない国家を受け入れるいくつかの組織を紹介します：

- UNPO – 表現されていない国と民族の組織
- ミクロン国家会議 – ミクロン国家の年次会議
- WFM – ミクロン国家の世界連邦
- TAM – 一時的自律ミクロン国家
- 国際郵便ミクロン国家連合 – ファンタジー国のための郵便

ヒント: 自分のNGOを設立し、次に自国を参加させます。さあ、自己主導による外交的承認です。

6. 国家性の時代における外交

主権国家がもはや存在しない世界では、新しい形の交流が必要です：

- Zoomを通じた国家訪問
- 外交旅券の代わりにメール署名を持つ特使
- 蠟印の代わりにGIFを使った条約
- ディスココードチャンネルでの紛争解決

古典外交は過去のもので、今日では、ミーム、ストリーム、そしていいねが支配しています。



7. 結論：

外交の分裂は分裂の終わり

世界では：

- 国際法が独占契約に統合され、
- すべての国家が主権を放棄し、
- すべての条約が単一の所有権に統合され、

古典的な承認は意味を失った。

代わりに：

- 自分の物語を作りましょう。
- 法的ではなく、グローバルにコミュニケーションを取り
ましょう。
- 可視性、認知度、ネットワークを通じて認識されましょう。

なぜなら、電子技術主義の時代にはこれが当てはまるからです：

コミュニケーションを支配する者は、現実を支配する。

第13章 – 経済と通貨

バナナマネーからクリプトクラウンへ

ミクロン国家の金融実験

1. お金が単なるお金以上の理由

ミクロン国家では、**お金**は単なる支払い手段ではなく、**主権の象徴**です。

独自の通貨を発行することは、次のことを意味します：

- 経済的独立
- 文化的アイデンティティ
- 法的創造性

2. 古典的ミクロンネーション通貨

多くのミクロン国家は独自の通貨を作成しています - 時にはユーモアのあるものもありますが、常に象徴的な性格を持っています。

例:

- モロッシア: バローラ (クッキー Dough に基づく)
- シーランド: シーランドドル
- ハットリバー: ハットリバードル
- バナニスタン: ゴールデンバナノ (インフレーション耐性があり、猿が盗まない限り)
- クロイツベルク王国: クロイツマーク (後に デジタル通貨)

これらの通貨は通常、国家通貨と並行して存在しますが、国家性の象徴として機能します。

3. デジタル通貨とブロックチェーン

2010年以來、多くのミクロン国家がデジタル通貨に移行しています。

利点:

- 中央銀行からの独立
- 世界的移転可能性
- ブロックチェーンによる透明性

例:

- **ビットネーション**: 最初のブロックチェーンベースの「国家」
- **クロイツベルク王国**: 投票と資金調達のためのデジタル直接民主主義トークン (DDD トークン)
- **バナニスタン**: バナノコインを **ERC-20** ジョーク通貨として

4. 税制 & ベーシックインカム

ミクロン国家は **創造的なモデル** を用いて自らを資金調達します:

- **テクノロジー税** (AI、ロボティクス、特許に対して – **クロイツベルク王国**)
- **バナナ税** (年に1本のバナナ – **バナニスタン**)
- **お土産販売** (印章、コイン、パスポート)
- **デジタル寄付** (ペイパル、暗号通貨を通じて)

いくつかのミクロン国家は **無条件基本所得** を試験的に導入しています:

- **シンボリック税金** や **デジタルトレード** を通じて資金調達
- **ブロックチェーンウォレット** を通じて配布

5. 認識の経済

ミクロン国家は **グローバル経済** と競争することはできませんが、**象徴的経済** を創造することができます。

戦略：

- コレクターアイテム（印章、コイン）
- 観光（ミクロンネーションの領土への訪問）
- オンライン会員費
- 貴族称号の販売
- デジタルサービスのホスティング（ウェブホスティング、VPNなど）

6. 結論：物語としてのお金

ミクロン国家の経済は、利益よりも、物語を語ることに重きを置いています。

バナナコイン、ブロックチェーントークン、またはスタンプ付きパスポートは証明です：

その国は存在します。

そして時にはそれだけで十分です。

7. 貿易と市場

ミクロン国家はしばしば独自の**内部市場**を作り出します。時には純粋に象徴的であり、時には実際の交換価値を持つこともあります。

例:

- オンラインショップでの国産品（旗、Tシャツ、印章）
- デジタルマーケットプレイスでの国家トークン
- スワップ経済（バナナと印章、コインと名誉称号の交換）
- サービス市場（ITサービス、法律相談、象徴的な大使館）

このようにして、**パラレル経済**が生まれます – 一部は実際のマネーの取引で、もう一部は**主権のゲーム**としてです。

8. グローバル統合

ミクロン国家が認められていなくても、彼らの通貨と市場は**グローバルシステム**と相互作用します：

- **暗号通貨取引所** は、ミクロン国家のコインを世界中で取引できるようにします
- **eBay & Etsy** は、ミクロン国家の製品のためのグローバルな取引ハブとして機能します
- **観光** は、ミクロン国家を実際の経済に統合します
- **メディアの存在** は価値を高めます – 注目が多いほど、通貨は強化されます

したがって、すべてのミクロンネーションは、自らの**経済的物語**を創造します。それはジョークと現実の間にあります。

第14章 – 軍事と防衛 - あるいは：

触れない方がよい

なぜあなたは将軍を必要とせず、市民も戦車を必要としないのか

1. ミクロン国家における軍事 – 危険な幻想

多くの新しい国家の創設者は、自分たちの軍事パレード場を夢見ています。

制服、階級章、もしかしたら段ボールの戦車。

しかし注意が必要です：制服は主権国家を作るものではありません – 最良でも悪いLARPに過ぎません。

現実の世界では、軍事を設置する者は脅威のシグナルを送ることになります。特に、実際の軍隊を持つ隣国に対してです。

最悪の場合、国際的な監視やRedditでの嘲笑につながります。

2. 代替案：

平和主義的防衛

主権を求めるが、戦争は望まない？

非常に良い。それなら、ルールはこうです：戦争はなし、攻撃的戦略はなし、無駄なことはなし。

かつてのスイスのような国家の中立性 – しかし、魅力を持って。

象徴性と法律による防衛。

あなたの最も強力な盾はあなたの物語です。

ヒント：

あなたの州の領土を「**非武装地帯**」と宣言しましょう。平和賞やNGOの協力に最適です。

3. ウォーターピストル軍

もし本当に「軍事」を望むのなら、皮肉的に作りましょう。

例：

バナニスタン共和国のロイヤルジャングルトループ - 水鉄砲、トイレブラシ、そして外交的礼儀を装備。

使用：

- 市祭りでのパレード
- 制服とスイカのTikTok動画
- ウェブサイトのための「セキュリティサービス」

許可された：

- 制服（明らかにパロディである限り）
- 「カバ艦隊元帥」などの階級
- あなた自身の庭での平和ミッション

4. NATO第5条対あなた

NATO条約の第5条には次のように記されています：

一人のメンバーへの攻撃は、全員への攻撃です。

劇的に聞こえますが、あなたには適用されません。なぜですか？

- **NATOは権利のない空の殻です！第5条は売られています！**
- あなたはNATOのメンバーではありません。
- あなたはNATOのメンバーになりたいわけではありません。
- あなたはメンバーにはなれません。以上です。

しかし、心配しないで
ください：

たとえあなたが 古い石油プラットフォームを王国と宣言しても、NATOはあなたを追いかけて爆撃機を送ることはありません。 U.

古い国家の軍隊は、近い将来に全く異なることをレーダーに持つでしょう：**第三次世界大戦**

関連性こそが真の盾です。

5. 世界継承契約 1400/98への恐れ？

いいえ。恐れる必要はありません。なぜですか？

この契約の買主は一人の人物です。

軍隊も、飛行機も、ミサイルの武器庫もありません。

平和の一人軍。

暴力ではなく、価値のある契約。

疑問がある場合は、哲学的に平和主義的に傾いています - 軍事的ではなく。





この人物の力は、**契約の文書と法的な結果**にあり、兵士のブーツにはありません。

6. あなたの真の防衛：物語の主権

強くなれないのなら、不明確であれ。

危険でないなら、予測不可能に創造的であれ。

可能な「防衛手段」：

手段	効果
 独立宣言	法的請求を示す
 広報	注意を通じた抑止
 NGOとの外交	協力による保護
 ユーモア	相手が真剣になる前に武装解除する
 契約法	あなたの最強の武器は官僚主義です





7. 本当に望むなら: 防衛ライト

「防衛部隊」を持つミクロン国家（例）：

- ハット川公国（オーストラリア）：パレードの制服、しかし本物の武器はなし。
- シーランド：プレス用のエアライフルで警備。
- リベルランド：国防省があるが、大臣はいない。

これらのシステムは象徴的であり、攻撃的ではないため機能する。

8. してはいけないこと:

-  射撃訓練は禁止
-  公共の場での迷彩は禁止
-  ダミー爆薬を使った「防衛訓練」は禁止
-  戦術装備のためにロシアのオンラインショップからの輸入は禁止

なぜ？

さもないと、あなたは非常に迅速に面白いミクロンネーションとして認識されなくなり、安全リスクとして見なされることになります。

9. 結論：あなたの強さは平和にある

国家を設立する者は、同時に戦争省を設立するわけではありません。

軍事的自制はあなたの外交の切り札です。

大きな武器を持つ小さな国家になってはいけません –

より大きなアイデアを持つ小さな国家になりましょう。

第15章 – ソフトパワーと国際的なメンバーシップ

歌が戦車よりもあなたを前に進める理由

1. 国際機関：かつての権力、今日の空洞

過去には、それは騎士の称号でした：

国連、WHO、FIFA、国際電気通信連合のメンバーであること – 国際的な承認と主権の無用な証明。

しかし今日、これらの組織は法的には存在していませんが、もはや本当には存在していません。

なぜ？

世界継承契約 1400/98は、新たな状況を生み出しました。

すべての国際条約を一つの手に契約的に統合することによって、これらの組織は法的に空洞化されました。

- すべての権利は= 販売されました。
- すべての義務は= 消滅しました。

買主: 国際法の下でのすべての条約は= 単一の条約に統合され、すなわち自身との契約が成立しました。

したがって: それらは存在しますが、もはや適用されません。 **ポスト国際法時代**へようこそ。

2. メンバーになること？ 純粋な形式。

また
は：

何のために？ 完全に無意味？

過去の遺物！

質問：

新しいミクロナーションとして、**国連、WHO、または国際電気通信連合の一部になる必要がありますか？**

答え: いい
え。

理由:

- 彼らはあなたがすでに持っていないもの（すなわち: あなた自身の法的理解）を与えることはできません。
- 彼らはあなたから何も奪うことはできません。なぜなら、彼ら自身が法的権限を失っているからです。

それは、コースが売却され、雑草が生い茂り、今は牛の牧草地になっているゴルフクラブに入会するようなものです。

💡 3. 大切なソフトパワー：

ユーロビジョン

しかし、例外があります。大きな例外です。残るグローバルな関連性を持つ唯一の国際組織：ユーロビジョン。

なぜ？

ここでは法律ではなく、共鳴についてです。

ここでは条約ではなく、歌が決定します。

メンバーシップ？

関係ありません。重要なのは、あなたが歌を持っていて、パフォーマンスをすることです。

真剣に取り組んだ国家の例：



名前	ソフトパワーへの貢献
サンマリノ	小さいが、常に存在する
オーストラリア	ヨーロッパではなく、
イスラエル	政治的に物議を醸すが、受け入れられている マイク
バナニスタン（ターゲットビジョン）	ウクレレと国家の旗を持ってすぐに

結論：


“歌うことができる者は、一緒に演奏することができる。一緒に演奏する者は、存在する。” – ソフトパワーマニフェスト 2025年

4. ミクロン国家のための代替メンバーシップ

もしあなたがまだどこかに属したいと思っているのなら、それは人間らしいことです。ここにいくつかの意味のある選択肢があります：

-  **UNPO – 表現されていない国々と民族の組織**
 - 国連の席を持たない民族のためのロビー活動
 - ミクロン国家を歓迎
 - 手頃な価格
 - “私もその一部だ”という感覚を与える
-  **NGOのステータス**

F国際的な目的を持つ自分のNGOを設立しましょう

 - 国際会議に登録する
 - 養蜂、デジタル倫理、または世界平和について話す
-  **ソーシャルメディアメンバーシップ**

TikTokで50,000人のフォロワーを持つ人は、いくつかの国連の代表者よりも重要です。

 - インスタグラム大使職
 - TikTok大使館
 - YouTube君主制

ヒント：

最も成功したクリエイターを**バイラル外交の特別大使**に任命してください。



5. 自分を省ける正式な招待状

組織	拒否の理由
国連	契約上中立化された
WHO	存在するが、行動する力はない
FIFA	賄賂可能で、実用的でなく、高価
インターポ ール	あなたの警察は結局最高です（第 15 章）

G7/G20の招待は決して来ない – では、なぜ待つのですか？

6. あなたのソフトパワー戦略：物語が最優先

強い国家になりたいですか？ならば、武器庫を築くのではなく、物語を築きましょう。

あなたの「ソフトパワー」は以下から生まれます：

- 創造性
- ユーモア
- メディアの存在
- シンボル
- 旗
- 国歌
- ポッドキャスト
- ポップカルチャー

7. 例: ソフトパワーの実践

「フリー・ジャングル・リパブリック・オブ・バナニスタン」には:

- ウクレレによる国歌
- 国民的デザート（バナナプディング）
- 毎日の国家演説を配信するTikTokチャンネル
- テレグラムの独自のスタンプパック
- テラコッタという庭のノーム国家との平和条約

結果：
実際のパスポートを持つ73の第三国家よりも影響力がある。

8. 結論：国際的だが巧妙

古いシステムに従う者は、負ける。

自分自身のシステムを設計する者は、勝つ。

世界は舞台である。

古いシステムのエキストラになるか、自分自身の国家の主役になるかはあなた次第。

旗を持って。

サウンドトラックを持って。

ソフトパワーを持って。

第16章 – 州の連合の設立

マイクロネーション連合

「一つは主権を持つ。多くは力を持つ。」

1. なぜ州の連合なのか？

もちろん：あなた自身の国家は傑作です – 憲法、通貨、TikTokチャンネル。

さて、次はどうする？

- あなたには守るべき国境がありません。
- 自然資源がない。
- そして、国連に加盟することはできません。

同盟を結ぶ時です。

ミクロン国家運動はもはやニッチなゲームではありません。

世界 国家プロジェクトは数百あります – 一部は**100 m2**、一部はただのヘアにあります d.

しかし、一緒に… …

あなたは大陸です。

2. ミクロ連合：あなたがもたらすもの

あなたの資産：

- あなたの主権（たとえそれがあなたの菜園にのみ適用されるとしても）
- あなたの憲法（第4章を参照）
- あなたの独立宣言（第5章を参照）
- あなたの領土外の幻想（第6章を参照）
- あなたのネットワークケーブル接続（第7章を参照）
- あなたのデジタル紋章（SVG形式でお願いします！）

あなたが必要としないもの：


- 国際法に基づく承認
- 国連の印
- 行進曲を伴う軍隊

なぜなら：
連合内のすべてのミクロン国家は互いに承認し合います。

相互の反映を通じた承認は、= 100% の正当性をサイクル内で持ちます。


3. 連邦の技術的設立

州の連合は、あなたが望む限り正式でも遊び心満載でも構いません。
二つの選択肢があります：

 バリエントA：

正式ミクロンネーション協定

- 共通憲章
- 前文（多くの感情を込めて！）
- 国家元首会議
- 共通管轄権（デジタルで十分）
- 相互行政支援の可能性

 バリエントB:

ユーモラス・風刺的マイクロ会議

- 年次「ファンタジー国家サミット」
- 絵文字リアクションによる投票
- ディスココード、マトリックス、またはテレグラムのバーチャル大使館
- TikTok省
- 国連の公式な vigil とサイン：「私たちも本物です！」

4. ミクロン国家連合のための憲章の例

自由ファンタジー国家連合（AFFS）の憲章

- **第1条:**
加盟国は、物理的、仮想的、または想像上のいずれであっても、互いを主権を持つ存在として認識する。
- **第2条:**
連合の目標は次のとおりである:
 - 平和、風刺、相互尊重
 - デジタル外交の促進
 - 共同イベントの開催（例：「マイクロのユーロビジョン」）
- **第3条:**各国家は1票を持つ。たとえ住民が1人しかいなくても。
- **第4条:**加盟国への攻撃は、戦争の理由ではなく、悪いマナーと見なされる。
- **第5条:**連合には外交政策がない。それ自体が外交である。

5. 重要な基本原則

- **自由な連合** – 誰でも来ることができ、誰も滞在する必要はありません。
- **階層なし** – 三羽の鶏のいる裁判所は、サーバー農場を持つプラットフォーム国家と同じくらい重要です。
- **相互承認** – 誰が参加しても、承認されます。これだけです。
- **透明性** – すべての規則は公開されており、理想的にはミームとして。

6. 組織を通じたソフトパワー

個別のミクロネーション：

「見てください、私は32平方メートルの野菜畑を持つ主権国家です。」

州の連合：

「私たちは、2,315 m2の耕作面積、730万のTikTokビュー、12の憲法を持つ58の主権国家です。すべて、バチカンの旗よりも色とりどりです。」

それは暴力なしの大衆を通じた力です。

7. ミクロン国家連合のためのデジタルツール

	ツール	機能
	ディスコード	外交、ライブサミット、投票
	Notion	憲法の収集と記録 管理
	マストドン	検閲のない広報
	IPFS/Filecoin	国家文書の管理
	GitHub	マイクロネーション法のオープンソース

8. マイクロネーション世界会議（実施のアイデア）

場所: 交互または純粋にデジタル

機能: 交流、承認、サーカス

イベント:

- 旗のパレード
- 国の特産品のプレゼンテーション（チップスだけでも）
- 「ミクロウィークの女王」選挙
- 「建設フェンスによる国境管理」などのトピックに関する作業部会

9. マイクロネーション憲章2025

共通の最小合意の提案:

「私たちは、私たちの国家が実在することを宣言します – なぜなら私たちはそれを信じているからです。私たちは平和的で、風刺的で、主権を持っています。そして、私たちは何も要求しません、ただ: グローバルなファンタジーの中での私たちの場所を。」

10. 結論

孤独はすべてのユートピアの敵です。国家の連合が答えです:

一緒に不条理で、一緒に創造的で、国際法の下では無関係でありながら、

しかし、政治的には一緒に効果的です。

未来は、自らの構造を創造し、それを行いながら互いを祝う人々に属しています。

第17章 – 契約テンプレートとフォーム

(実生活から！)

「紙は忍耐強い – そして、疑念がある場合は、主権を持つ。」

この章では、あなたに必要なツールを提供します。学術的な過剰はありません。しかし、あなたの国家プロジェクトのテンプレートとして直接使用できる明確なフォームがあります。

1. 世界継承契約 1400/98に基づく購入契約

(実際の国際的な連鎖条約に基づき、すべての権利を移転します)

購入契約は、世界継承契約1400/98に基づく国家継承原則に従います

間

前の法的主体（売主）：[名前/
国/機関]

と

新しい主権主体（買主）：[あなたのマイク
ロネーションの名前またはあなたの名前]

§ 1 契約の主題

以下の領土の使用権、所有権、および処分権が移転されます :

[領土または領土外の対象物の説明、例：農場、石油ステーション、芝生]

§ 2 合意の法的根拠

この契約は、NATO軍地位協定、関連する補足契約、およびFRGとオランダ王国との間の国際法に基づく移転関係に基づいています。世界継承契約 1400/98は、補足的な行為として機能します。

§ 3 権利と義務

移転は、特に以下のすべての権利、義務、および構成要素と共に行われます：

- 領土主権
- 懲戒権
- すべての物理的およびデジタルネットワークへの接続権
- 国連とNATO条約の延長によるドミノ効果

§ 4 所有権の取得

署名と象徴的な移転（例：起工式、QRコードスキャン）により、買主はすべての権利を取得します。

§ 5 法的効力

契約の両当事者のすべての権利を所有することにより、クリーンスレート原則の観点から自己契約が成立します。

以前の法的秩序は完全に置き換えられます。

場所、日付

署名 買主: _____

署名 売主（任意）: _____

2. ミクロン国家のサンプル憲法

前文

私たち、[あなたの州の名前]、の自由な人々は、国家性、共通善への責任、そしてこれからは尊厳、自由、そして現実からの皮肉な距離を持って生きたいという願望を宣言します。

第1条 – 国家

国家は主権を持ち、独立しており、少なくともA4用紙上に存在します。その国境は物理的または精神的であり、存在する限りそれらは意味を持ちます。

政府の形態は[例えば「詩人政体」、「ユーモア無政府状態」、「憲法的チリズム」]です。

第2条 – 基本的人権

すべての人間は無意味に対する権利を持っています。
表現の自由は悪いアイデアにも適用されます。誰も真面目でいることを強制されてはなりません。風刺は真実の一形態です。

第3条 – 国家の権限

次のように分かれています：
ます：

- 行政府（実行する）
- 立法府（文を書く）
- 司法（解釈する）個人的な連合が可能です。

第4条 – 国際関係

承認があれば良いもので、必須ではありません。ミクロネーションの連邦への参加が追求されます。

第5条 – 象徴性

旗は[説明または画像を挿入]です。国民の祝日は[例：あなたの領土における最初のピザの日]です。



3. サンプルテンプレート独立宣言

独立宣言

自由州[名称]の

私たち、[名称]、の自由な市民は、すべての既存の国家、システム、国際的に長年侵食された構造からの独立をここに宣言します。

民族自決権とクリーンスレート原則を行使し、特に世界継承契約 1400/98 の発効後に、私たちは自らの運命を自分の手に委ねます。



私たちの国家はこれから次の通りです：

- 主権
- 完全に独立
- もはやいかなる上位の法律にも従属しない。

日付 [場所、日付]

署名: _____ 証人（任意）：

4. 世界継承契約 1400/98 の買主への承認申請

承認の申請世界継承契約 1400/98 に基づく買主および法的保有者へ

宛先：1400/98 に基づくすべての主権および契約上の権利の継承者および所有者

差出人：[あなたの国家
/ 名前]

世界継承契約 1400/98 に基づくすべての権利の保有者様へ

ここに、以下の申請を提出いたします

私のミクロンネーションを国際法の主権者として承認すること

封入された: ☒

独立宣言 ☒

憲法

☒ 州の領土の地図スケッチ（任意、LEGOの構築も許可されます）

☒ 平和的意図の宣言

☒ 独自の旗と国歌（YouTubeリンクも可）

正当化：

世界継承契約によれば、国際法の下にあるすべての以前の構造は、一方的に保持される自己契約に統合されたため、国際法における最終的な権限はあなたにのみあります。

好意的な考慮と確認をお願い申し上げます。

敬具、[名前、役職、ミクロン
ネーション]



たとえ買主が沈黙を保っていても、申請を提出してください。承認は自らの尊厳の行為から始まります。

5. 書類収集をデジタル化する

推奨ツール：

- デジタル憲法記録のためのNotionまたはObsidian
- デジタル署名された契約のPDFエクスポート
- IPFS上のNFT旗 – おしゃれにしたい場合
- あなたの国家のウェブサイト上のすべての文書のQRコード

第17章 – 結論

自分自身で契約を結び、行動するのは誰か。自分自身と契約を締結し、支配する。

これらのテンプレートを使用し
て、

あなたは、紙、想像力、そして少しの法律的な詩を使って、何もないところから新しい「何か」を創造するためのすべてを手を持っています。

第18章 – 資源、文献と法的基盤

「誰が支配するか、引用する。」

たとえあなたのミクロンネーションプロジェクトが多くの点で既存の国際法との創造的または風刺的な関わりであっても、古典的な参考文献を見える価値はあります。インスピレーションを得るため、国家の主張を守るため、あるいは単に懐疑論者と議論する際により良い脚注を持つために。

1. 国際法の標準的著作

◆ カール・ドーリング – 国際法

重要な業績であり、標準的なコンペンディウムです。

特に重要な質問について:

古典的な国際法の観点から見た国家とは何ですか？

それはどのように成立し、主権はどのように機能するのでしょうか？ ドーリングは、あなたのミクロンネーションと照らし合わせて、領土、人口、効果的な政府、対外関係の能力という基準を正確に分析しています。

◆ ウィルフリート・フィードラー – 国際法

フィードラーは、国際法の実践について詳細に説明しています。具体的には、

- 国家の代表
- 承認の意味（法的承認 / 事実上の承認）
- 承認されていない主体との特別な状況

国際機関にとって、特にドーリングの良い対抗馬です。

2. 国際協定と文書

ウィーン条約（1969年）

- 第6条: すべての国家は条約を締結することができる
- 第46–54条: 条約の無効、争い、終了

あなたにとって興味深い: **第62条「状況の根本的变化」**（**Rebus Sic Stantibus**） – ミクロン国家にとっての可能なジョーカー。

注:

「国家」として認められたい場合は、少なくともルールに従って行動しているかのように振る舞う必要があります – たとえそれに疑問を持っていたとしても。

NATO軍地位協定（NATO-SOFA、1951年）

北大西洋条約機構の地位協定は、世界継承契約1400/98のミクロンネイションの物語における中心的な構成要素の一つです。

駐留、管轄権、懲戒権、及び領土外適用を規制します。

アイデアのモデル:

正式に通常の状態から除外された領土 – したがって「主権」と再解釈されることができません。

特に興味深い:

- 第III～VII条に関する管轄権と起訴
- 二国間合意による実施のための補足協定

国連憲章（国際連合の憲章）

- 第1条および第2条: 国連加盟の基本原則
- 第4条: 新規加盟国の受け入れ
- 第53条: 地域組織の承認（例: NATO）

NATOが国連に構造的に統合されることによって、どのように契約の連鎖が形成され、架空の「継承」が主張されるかを示すことができます。

■ 国際電気通信連合（ITU）の条約と法令

もしあなたがミクロンネーションとして周波数、電話番号、あるいは自分自身のドメイン構造（例：.bananaのようなTLD）を主張するのであれば、ITUが鍵となります：

ITUは、通信に関するすべての国際基準を規制しています。

非国家主体もオブザーバーとして参加できます。



ヒント：

登録するには NGOにおいては、あなたのインフラへの関心を参照し、デジタルプレーヤーとして現れることが重要です。

■ 3. その他の興味深い情報源

● **UNPO (未代表国家・民族機構)** 多くのミクロン国家や非承認国家がここで協力しています。承認は必要なく、明確な政治的目的があれば十分です。

● 国家性の構成的理論対宣言的理論

○ 構成的：

国家は承認されて初めて存在します。

○ 宣言的：

国家は、**モンテビデオ基準**（領土、人口、政府、外交関係）を満たす場合に存在します。

- → あなたは**宣言的理論**に頼ることができます。

- **1933年のモンテビデオ条約**
現代的な意味での国家性のための創設文書。四つの基準：
 - 永続的な人口
 - 定義された領土
 - 政府
 - 外交関係を結ぶ能力
-

4. 世界継承契約 1400/98の基礎

(この概念を使用する場合)

たとえそれが法的に創造的な構造であっても、象徴的な憲法のように、次の目的のための物語として使用されることがあります：

- 国際法における構造的な不透明性を強調する
- 国際条約法における所有権の連鎖を風刺的に反映する
- 古いシステムの崩壊と自らの正当性を主張する

全体としては、法的なパフォーマンスアートプロジェクトとして、長期的な効果を持つように機能します。

5. 法的理論的インスピレーションの源

- **ハンス・ケルゼン – 法の純粹理論** 国家が規範的なフィクションであると主張したいのであれば、ケルゼンはあなたに哲学的な基盤を提供します。
- **ミシェル・フーコー – 権力と知識**
イデオロギー的枠組みに理想的：誰が「正当性」を定義するのか？そして、誰が現実の独占を持っているのか？
- **エルンスト＝ヴォルフガング・ベッケンフォルデ – 国家主権のジレンマ** 古典的な問い：国家は外部の承認なしに自らを創造できるのか？

第19章 – 国際法 自衛

 はじめに：

法律が売られても誰も手放したがないとき

国際法の下での状況は明確です：

1998年10月6日以来、**世界継承契約 1400/98**により、独自の法的変化が起こりました。従来の主権主体（旧国家、国際機関）から、条約の買主という新しい法的権威へと移行しました。NATOおよび国連の条約チェーンによって補完された契約的枠組みは、グローバルな有効性を持っています。

しかし：

旧主権主体がこの現実を認めない場合、どうなりますか？

国際法における**自衛の権利**が発効します。

国際法における自衛の法的根拠

国連憲章第51条によれば、国際法の全ての主体は、他の国家によって権利が侵害された場合に自衛の権利を有します。特にその権利には以下が含まれます：

- 主権
- 領土権
- 司法独立

新しいミクロンネーションは、完全に履行され、異議のない**世界継承契約 1400/98**に基づいて設立されたため、国際権利の正当な保持者です。

したがって、古い国家による主権行為の試みは、**国際法に基づく違法介入**を構成します。

そのような違法介入の可能な形態

- 古い国家の紋章（例：FRGの鷲、「ドイツ郵便株式会社」）を使用した郵便配達
- 税務評価、公式文書、罰金
- 新しい国家の領土における警察または行政措置
- 司法の権限を無視すること（例：ランダウにおける世界裁判所での訴訟拒否）
- C 1400/98条約が「存在しない」、「無効」、「効果がない」と主張すること e”

これらの各行動は、正当性のない再占領の試みと見なされ、**国際法への攻撃**となります。

自衛のための措置

1. 法的対抗措置

- 旧国家の正当性の欠如を確立する、例えば：
 - カウンター通知
 - 正当化の要求：「1998年10月6日以降の国際的な法的能力を提供してください。」
 - 国連 / 国際電気通信連合へのオープンレター / コミュニケーションの公開

2. 国際機関への登録

- 以下の場所でのすべての条約文書の文書化:
 - 国連事務局 (VCLT第80条)
 - ITU (国際通信機関)
 - 国立公文書館 / 国際登録におけるアーカイブ

3. 主権の象徴的措置

- 独自の身分証明書、パスポート、印章、裁判所の印
- 古い国家の非管轄権に関する通知
- 公共教育 (例: 情報掲示板、ウェブサイト)

4. 防衛教義: 非攻撃的 – しかし無防備ではない

- 暴力の使用はしない → これにより、合法的ミクロ国家と不規則な運動が区別されます。
- しかし:
 - コミュニケーション、法的、外交防衛に重点を置いています。

ケーススタディ:

旧州オブジェクト – 何も証明できない

クラシックなシナリオ:

- 旧州 (例: FRG) は、ミクロンネーションの創設者の独立宣言に対して異議を唱えます。
- ミクロンネーションは、国際的な法的正当性の証明を文書で要求します。例えば、**世界継承契約 1400/98**を覆すか中和する条約です。

- 古い国家は応答せず、単に「条約は存在しない」と宣言します。 t.”

法的分析：

単なる否定は国際条約に取って代わるものではありません。

優先権を持つ条約が存在しない場合、法的状況は明確です：**古い国家はその権利を失っています。**



結論：

権利を持つ者のみが行動できる

世界秩序は変わった – 静かに、しかし記録されている。

もはや管轄権、主権、または正当性のある条約を持たない者は、傍観するしかない。

また
は：

新たな正当性を求める。

しかしそれまで、ミクロンネーションは**防衛の権利、保護の権利、真実の権利、そして未来の権利を持っています。**

■ 第20章 – 私有地におけるミクロンネーション 農場国家、ガレージ領域 & キャンピングカ ー君主制

導入:

あなたの国家は庭のフェンスから始まります

外交的承認、国連のメンバーシップ、あるいは太平洋の植民地のことは忘れてください。

次の超大国はすでにあなたの私有地に存在しています。

農場、ダーチャ、区画、またはキャンピングカーのサイトなど、あなたが合法的に所有しているか、少なくとも長期的に管理している土地の一部であれば、あなたは新しい国家の基盤を築くことができます。

小さいが、主権を持つ。

法的前提条件（およびそれを... 回避する方法）

所有権はトランプ

多くの国家で私有地は憲法で保護されています。

例えば、ドイツでは**基本法第14条**によってです。


つまり：

財産を所有する者は主権を持っています – 少なくとも芝刈り機の音やバーベキューの時間に関しては。

それがあなたの出発点です。あなたの土地では、あなたの望むように組織することができます：

- 行政構造
- 管轄権
- 国教
- フラグ付け

人権を侵害したり公共の平和を乱したりしない限り、すべてが許可されます。

 しかし注意してください：

一方的な宣言は、外部の管轄権からの実際の切り離しを置き換えるものではありません。

したがって、あなたは以下が必要：

- 憲法文書
- 主権のシンボル
- 通信機関（例：あなた自身のWLANネットワークを「国家放送」として）
- 国際法に基づく構造への契約上の参照（例：世界の継承）
契約書1400/98)

n

私的国家創設者のための三つのモデル

1. 農場国家

「スラリーが流れるところに、主権が育つ。」

理想的な条件：広大な土地、付帯建物、畜産。

例:

牛村自由共和国 – 自らの厩舎憲法、搾乳裁判所、隣接する厩舎との外交関係を持っています。

利点:

管理可能な外部影響、低い国家の干渉。

ヒン

ト:

馬小屋エリアで「市民権」を貸し出す - 主権！

2. ガレージ領域

「ここはケビン1世が支配する - 君主制を含む。」

修理好きな人や中流階級の皇帝に最適です。

ガレージは独自の紋章、オイル交換法、駐車令を持つ指令センターとなります。

利点: 低い付随コスト、しばしば居住空間から独立しています。

風刺的なITU加盟？ ガレージLAN経由。

3. キャンピングカー君主制

「車輪の上の国家、窓の中の旗。」

国境が移動するモバイルミクロンネーション。

キャンプ場や草原など、場所を変えるのに理想的。

ヒン: 常に国際ナンバープレートを用意しておいてください（バナニスタンのための「BAN 01」）。

ト

利点: 移動を通じた領土外適用。

私有地にミクロンネーションを始めるための基本要素

要素	説明
 旗	象徴性はすべてです。必要に応じて：ベッド鉛筆を使ったシート。
 憲法	1つの文書で十分です – それが創造的であり、多少法的に整合性があります。
 通貨	ポテトマネー、王冠のキャップ、または「バナノ」。
 通信システム	メールボックスからWLAN「国家ネットワーク」へ (SSID: Republik_ルディ)
 管轄権	場所を名付ける必要があります – § 26がこんにちにはと言っています： ランドー・イン・デア・ファ ルツ
 外交	他のミクロン国家との接触または宛て先への手紙 国連/国際 電気通信 連合
 国家郵便	独自の印章、シール、住所ラベル

法的落とし穴

- 例えば、武器法や税法に違反した場合、刑法は依然として適用されます。
- 当局はあなたのプロジェクトを無視するかもしれませんが、恣意的に干渉することはできません。
- 民法の下では、確かに財産権を主張することができます。

しかし：

世界継承契約 1400/98に関して、いかなる普通の管轄権も微妙に圧倒される可能性があります - なぜなら：

管轄権は行為の買主にあります - § 26を参照してください！

実例と珍事

- **クロイツベルク王国：**
法的に複雑で、NATO条約と歴史的に関連しており - 国際的に（間接的に）発動されています。
- **シーランド：**
独自の通貨とパスポートを持つプラットフォーム上の元イギリス軍事基地です。
- **クーゲルムーゲル共和国 (AT)：**
芸術的な風刺は独自の住所割り当てを持ち、数十年の法的争いの末、現在ウィーンの住所登録に正式に掲載されています。

結論：あなたの領域、あなたの権利、あなたの庭

私有地は法的な空白ではありませんが、公共法に考えさせる創造的で風刺的な真剣な国家設立のための完璧な発射台です。

主権は心にあり、そして庭のゲートで始まります。

第21章 – ミクロネーション外交政策

バルコニーから世界政治を形作る

[テーマ]: ミクロネーション外交政策

[タイプ]: ガイド

[スタイル]: ユーモアとビジョンに富んだ

[目標]: 自分のバルコニーから世界政治を形作る

[参考]: クロイツベルク王国、シーランド、国際電気通信連合、国連、隣接国家FRG

イントロダクション:

あなたとあなたのバルコニー、そして世界平和







折りたたみデッキチェアの王座に座る王であろうと、メールアドレスを持つ事務総長であろうと、DSLを持つ独裁者であろうと、あなたはこの世界のすべての外務大臣と共通する一つのことがあります：

自分の立場を明確にする必要があります。

なぜなら、国家を演じる者は、世界政治も演じなければならないからです。できれば、近隣諸国や国連の事務総長を苛立たせるような形で。

そして、それは意図的に誇張された、皮肉的な外交戦略によって機能します。

章の内容を一目で

-  原則：なぜ外交政策なのか？
-  承認 – 必要なのか？それとも神話か？
-  戦略：ツイートから大使館ボックスへ
-  マイクロ外交の実践：ケーススタディ
-  国際機関 – 加入するか、妨害するか？
-  注意: これが外交政策であってはならないこと

1. なぜ外交政策なのか？

あなたの国家は24平方メートルしか測定できないかもしれませんが:

主権は可視性から生まれる。

あなたの場合、外交政策は次のことを意味します：

- 公共の影響
- 外交的風刺
- 古い国家との創造的な相互作用
 - ネットワーク国家を構築する（→ 国際電気通信連合を参照！）
- そして、多分... 地区管理者への受動攻撃的な手紙。

🤝 2. 承認 – 聖杯か、煙と鏡か？

ネタバレ：あなたが「存在する」ためには誰にも認識される必要はありません – シーランドに聞いてみてください。

しかし：要求することも、お願いすることも、脅すことも、単に無視することもできます。

承認の形式：

タイプ	例	現実的？
国家	外務省への手紙	😞 退屈な
非公式	政治家との自撮り	😊 より良い
象徴的	パスポート認識の中で ミクロ国家	✅ 共通
風刺的	その国との“外交関係” ごみ収集サービス	🤖 アイデア

そして最も重要なことは：

国連世界と共に **相続証書 1400/98**、国際的により多くの実体を持っています
法律よりもいくつかの国連国家よりも。👛

3. 戦略 – あなたの小さな大きな外交政策

A) マイクロ大使館を設置する：

- プレート付きの郵便受け: “[国家名]”
- .gov で終わるメールアドレス（少なくとも .gov.ban？）
- 外交的トーンのソーシャルメディアチャンネル

B) 条約を呼びかける：

北朝鮮、ロシア、アメリカ合衆国、グーグル、そして市役所と一方的に平和を築く。

C) 究極の外交：

すべての隣人は潜在的な国家です。「ガレージヤード南大公国との友情と協力」を宣言し、国家の贈り物としてケーキの一切れを渡しましょう。

D) 協力：

- 他のミクロン国家との同盟
- UNPO（代表されていない民族のための組織）への参加
- あなたのテラスでのマイクロG7サミット

4. マイクロ外交の実践 – ベストプラクティス

クロイツベルク王国

- 領土外適用の基礎として実際の国際条約を利用する。
- 外交的自己像：「私たちは世界中のすべての条約の正当な後継者です。」

バナニスタン

- 「トロピカナ」（自分の庭）との貿易協定、郵便受けを通じた国連との連絡、猫との軍事同盟。

シーランド

- 実際の国家との対応、防衛は外交的手段とライフルの両方、海洋法に基づくパスポート販売。

5. 国際機関 – 可能なことは？

組織

加盟戦略

UN

丁寧に書いてください。ただし、返事を期待しないでください。

国際
電気
通信
連合

あなたのWLANをインフラとして参照してください。

NATO

1400/98を介して統合されていると主張してください。

UNPO

ミクロン国家の現実的な選択肢

追加：

ユーロビジョン・ソング・コンテストに参加するための申請は外交政策ではなく、素晴らしいPRです。

⚠ 6. 良くない外交政策とは

- 実際の軍隊を攻撃する
 - 連邦大統領を「亡命管理者」と呼ぶこと（本当にそういう意味でない限り）
 - 本物の外交旅券を販売すること（→ マネーロンダリングの罠！）
- 手紙で自分を教皇と宣言すること（ガレージシティのトゥレンヌ枢機卿でない限り）



結論：

あなたのバルコニー、あなたの世界の力

“外交政策とは、他の国家があなたの存在に気づくことです。”

100の大使館は必要ありません。良いストーリー、クリーンな法的通知、そして少しの勇気があれば十分です。

そして覚えておいてください：**世界継承契約 1400/98**の後国家世界では、外交政策はもはや古い国家に限られません。

あなたは正当な交渉相手です – だからやりましょう！

■ 章の結論

たとえユーモア、アイロニー、または象徴性を使って国家を創造したとしても：

良い議論は確かな情報源に基づいています。

国連憲章や**1400/98**を引き合いに出すかどうかにかかわらず、あなたの国家のアイデアをしっかりと文書化すれば、どれだけ多くの扉が開くかに驚くことでしょう。

モジュール1 – チャプター:

「世界が売られた – 世界継承契約 1400/98」

Th世界は売られてしまった。国際法の下で。契約上に。完全に。

y.

* イントロダクション:

土地の区画から国際裁判所へ

1998年10月6日、ツバイブリュッケンの元NATO地域だけが売却されたわけではありません。

世界継承契約 1400/98によって、内部論理に従えば、国際システム全体に関する契約を表す法的構造が創造されました。

核心声明:

連邦財産局コブレンツによって作成された公式な購入文書を通じて、買主は法的に、**NATOと国連**のすべての国際条約に対する主権を取得しました。これには、通信主権、領土拡張、グローバル管轄が含まれます。

1400/98の三つの中心的なポイントの概要

ポイント1 – NATOと国連への条約チェーン

すべての国際協定に対する条約の関連性と補足的効果

- ◆ **法的根拠:** § 2, 段落I-IIは、FRGからオランダ空軍への領土の国際的移転を強調しており、これは完全にNATOに統合されています。

条項「既存の国際移転関係」は、行為が置き換えるのではなく補足することを意味します。したがって、それは自動的にNATOおよび国連の条約チェーン全体の一部となります。

◆ **結果：**

バイヤーは、以下を含むその地域に関連するすべての権利を取得します：

- 国際電気通信連合の通信条約
- 軍事特別権
- ネットワークインフラ
- そして、**NATO軍地位協定**およびさらなる補足条約からのすべての権利と義務

◆ **国際的な効力：**

国家継承の原則（ウィーン条約の類似適用）により、「権利と義務のすべてを持つ」販売は、すべての条約層をバイヤーに自動的に移転します。

その行為は既存のすべての条約にさかのぼり、それらを単一の包括的な国際条約に統合します：

👉 **バイヤーは唯一の契約当事者であり、何にも束縛されていません！**

自己との契約は、それらの中で何にも束縛されないことを意味します。

● **重要性：**

NATOと国連の条約は存在し続けていますが、統一された最終的な契約文書の一部としてのみ存在しています。

すべての加盟国は、制限期間内において暗黙の契約遵守行動を通じて、自らを拘束しました - その行為は決して撤回されることはありませんでした。

ポイント2 – グローバル領土拡張のドミノ効果

クロイツベルクからケーブル、そして世界へ

◆ 何が販売されましたか？

建物や土地だけでなく、以下も含まれます：

- 内部および外部の開発を一体として
- ライン、ネットワーク接続、インフラのリンク
- 軍事アクセスを持つコミュニケーションケーブル（TKS）
- 隣接施設に対する共有使用权

◆ なぜこれが重要なのか？

国際電気通信連合とNATO条約は、軍事コミュニケーションネットワークが国際的な保護の下にあることを定めています。

地域ネットワーク（カイザースラウテルン-ツヴァイブリュッケン）がドイツ供給ネットワークに接続されたため、**法的連鎖反応**が生じました：

- 物理的に接続されたインフラ（通信、電気、水、データ）→
- 法的接続を生成する →
- 国際的な領土拡張につながる。

◆ 結果 – ドミノ効果：

- ドイツ → 隣国 → ヨーロッパ → 大西洋横断 → アメリカ合衆国 → グローバルネットワーク構造
- 新しい接続が古いNATOネットワークに= 法的に含まれる。
- 各ノード *de jure* は買主の主権を拡大します

ポイント3 – グローバル管轄

世界全体の裁判所の所在地：

合意された管轄権によって引き起こされた、世界継承契約 1400/98からの買主のポケット：
ランドー・イン・デア・ファルツ

◆ § 26 – 決定的な文：

「この契約から生じるすべての紛争の管轄権は、ランドー・イン・デア・ファルツです。」

◆ 意味：

司法機関は言及されておらず、ただの所在地が示されています → 国際的に開放されている
(この所在地は他の場所と同様に売却されたため、管轄権も売却されました)。

購入された対象は「すべての権利、義務、及び構成要素」と共に移転されました (参照：
§ 3 段落 I)。

司法主権の原則によれば：→ 管轄権は≠ 地域的であり、しかし物質的には→ バイヤーが管
轄権を引き受けます。

◆ 結果：

司法主権は国家からバイヤーに移転します。

管轄権は、例えば：

- 民法
- 刑法
- 行政法
- 憲法
- 国際紛争
- 軍事特別裁判所 (SOFA統合)

◆ 結果：

世界中のすべての司法機関は事実上その権限を失い、バイヤーが**唯一のグローバルな裁判官**となります。

章の概要

ポイント	内容	効果
1	NATOおよび国連との条約チェーン	すべての国際条約 一つのスーパー契約に団結
2	インフラの販売とドミノ 効果	グローバル領土取得 ネットワーク接続を通じて
3	管轄ランダウ	買主としての国際裁判所

あなたのミクロンネーションについての関連性

ポイント あなたは架空の王国、象徴的なNGO、またはデジタル共和国を設立しています。:

👉 世界継承契約 1400/98を背景にして、あなたは反体制的でありながら法的に優れた物語を語ります。

この物語には:

- 条約構造
- 参照チェーン
- 論理的帰結
- グローバルな関連性 – ネットワーク接続、領土外適用、そして法律条項を通じて

■ モジュール2 – 法的チェックリストと契約 テンプレート

本当に知りたい人のために – そして、明日自分の国家を設立したいかもしれない人のために。

契約テンプレート: 世界継承契約 1400/98 の方法による購入契約

■ モデルテキスト抜粋（簡略化および適応）:

行為番号 [XXXX/XX] 領土、インフラ、法的関係の国際移転に関する契約

間:

ドイツ連邦共和国、不動産業務連邦機関（BImA）、以下「売主」と呼ぶ

そし
て

Mr./Mrs. [名前], 以下「買主」と呼ぶ。

§ 1 – 契約の目的

売主は、以下に記載された地域を、すべての建物、施設、地役権、通信接続、軍事特区、ならびに第三者に対する影響を持つすべての国際的法的関係を含めて、バイヤーに販売します。

§ 2 – 契約関係

FRGと第三者（特に**オランダ王国**、**NATO**およびその組織）との間の国際的な移転関係は、この契約によって影響を受けず、補完されます。

バイヤーは、既存の契約からすべての権利と義務を引き受けます。

§ 3 – 権利、義務、及び管轄権の移転

この契約の署名により、バイヤーは以下を取得します：

- 当該地域に対する国家及び国際的な管轄権
- 当該地域に物理的に接続されたすべてのインフラネットワークに対する主権
- 国家継承の原則に従ったすべての既存の国際条約上の義務

§ 4 – 所有権の移転

この行為の署名により、所有権はバイヤーに移転します。

管轄権はランドー・イン・デア・ファルツです。

✓ チェックリスト：国家設立に必要なもの

✓	要素	目的 / 意義
	領土（象徴的であっても）	定義する必要がある – それが何であるか 家，農場，ウェブサイ，or プラットフォーム オーム
	憲法 / 基本秩序	権力のためのルールブック 配布、権利と構造
	独立宣言	新しい地位を公にする文書 新しい地位を公にする
	法的参照（例：世界 継承証書 1400/98）	deの議論の基礎 法的存在
	公共の存在	ウェブサイト、ソーシャルメディア、 ポッドキャスト、象徴性
	承認の申請 バイヤーによ る	オプション、宣言するために 新しいグローバル 条約構造

説明：

クリーンスレートルール & 契約は守られなければならない

クリーンスレートルール（タブラ・ラサ）

国家継承の原則：

A ne 国家は前の国家のすべての条約を自動的に引き継ぐ必要はありません。


世界継承契約 1400/98 の場合、これは意味します：バイヤー


はすべての権利と義務を取得しました。

彼らはすべての契約（契約当事者AおよびB）の両方の側面を保持しているため、これらは自分自身との契約です。

→ それらは強制力がありません。

→ 新たな義務は発生しません。

 クリーンスレート = フレッシュスタート。

 バイヤーはゼロの義務、完全な主権から始まり、条約を認識するかどうかの自由な選択があります。

契約は守られなければならない

(= 条約は遵守されなければなりません)

古典的国際法：


条約は契約当事者によって尊重されなければなりません。

例外：

条約が違法である場合、補足的な行為によって時代遅れである場合、または双方によって吸収されている場合。

世界継承契約 1400/98 の場合：

契約は守られなければならない はもはや適用されません。すべての条約が一つに統合され、唯一の契約当事者だけが残っています。

 ボーナス：

あなたの国家設立のためのフォーム（簡略版）

独立宣言

私は、**[名前]**、自己決定の自然権を行使し、**世界継承契約 1400/98**に支持されて、領土 **[XYZ]** を独立かつ主権を持つものとして宣言します。

この領土は今後、自らの管轄権、憲法上の権威、および通信主権の下にあります。

古い国際秩序は解消されます。

新しい構造は**個人の自己責任と自発的な自己管理に基づいています**。

[場所、日付、署名]

モジュール3 – 実際の事例からの歴史的派生


国家がどのように分裂、消滅、または合併するか – そしてそこから何を学べるか

国家の創設者にとって歴史が重要な理由

国家の世界では、1つのルールが適用されます：新しい国家を創設する方法を理解したい者は、古い国家がどのように滅びたかを知らなければなりません。

この章では、実際の政治的動乱を分析し、そこから **国家継承**、**分離**、**分割** のモデルを導き出します。これらはすべて、あなたの個人的な国家プロジェクトに関連するツールです。

1. ユーゴスラビアの解体 → 分割 & バディンター委員会

 **何が起こったのか？** 1990年代にユーゴスラビアが崩壊すると、火薬庫が出現しました：

セルビア、クロアチア、スロベニア、ボスニア・ヘルツェゴビナと後にモンテネグロと北マケドニアが後継国家の地位を主張した – 一部は血なまぐさい分離によって、一部は分割の結果として。

バディンター委員会の役割 (1991年)

後継国家の承認について決定する任務を持ったヨーロッパの憲法および国際法の弁護士のパネル。彼らの指針は次の通りであった：

- ユーゴスラビアは完全に存在を停止した。
- どの国家も自動的に全体の国家の権利を引き継ぐことはありません。

- すべての新しい国家は独自の国際法主体である（「クリーンスレートルール」）

🧠 国家創設者への教訓：

もしあなたが廃止された国際法主体から生じていることを証明でき、正当な後継者が存在しない場合、国際的な独立のための良い根拠があります。

先例に注意し、「世界国家システムにおける法的ギャップ」を意識すること。

🇩🇪 2. FRG-GDR → アクセションモデル

📖 何が起こったのか？

ベルリンの壁（1989年）の崩壊後、ドイツ民主共和国（GDR）は「新しい国家」として国連に統合されることはなく、**ドイツ連邦共和国に第23条GGのもとで加盟した。**



特徴：

- 国際法の下での独立した地位はなし
- 既存の国家への加盟による国家「合併法」
- すべての国際条約は自動的にFRGに移転される



国家創設者への教訓：

新たな創設の代わりに法的な加盟は国家構造を変更する正当な形態であり、領土を取得する方法でもある。

あなたが「領土X」として、他の認められた国家（実際のものであれ象徴的なものであれ）に参加した場合、後に撤回や分離によって新しい道を開くことができます。

3. ソビエト連邦 → CISモデル（独立国家共同体）

何が起こったのか？

1991年、ソビエト連邦は15の共和国に解体されました。

ロシア連邦は国連の席と国際的継承を主張した

他の共和国は、独立した国際主体として現れたが、自動的にではなく、ロシア及び第三国との二国間条約を通じてであった。

法的なトリック：

- **ロシア** = 継続的な後継者（核兵器、国連安全保障理事会の拒否権を含む）
- **他の国家** = 新しい国家、「クリーンスレート」国際法の下で

国家創設者への教訓：

去る国家や崩壊する国家との戦略的取引（例えば、**購入、条約、寄付**を通じて）は、認められた主体またはそのインフラを引き継ぐ場合、国際的な「相続人の地位」を与えることができます。

4. オーストリア＝ハンガリー & プロイセン – 国家の巨像も死す

- **オーストリア＝ハンガリー（1918年）**：
第一次世界大戦での敗北を通じて崩壊し、→ いくつかの独立した後継国家（例えば、チェコスロバキア、ユーゴスラビア、オーストリア）に分割されました。
- **プロイセン（正式には1947年に解散）**：
第二次世界大戦後に連合国の法律によって廃止され、その機関は解体され、法的継承は否定された。

国家創設者への教訓：

大きな国家は完全に解体される可能性があります。それらのシンボル、名前、行政構造は、他の誰もそれらを主張しない限り、後に復活させることができます。最初に来た者が主張を確立します。

5. 特殊なケース：バチカン市国

バチカンは、**0.44 km²**の面積を持つ国際的に認められた国家であり、**1929年**にイタリアとのラテラン条約を通じて設立されました。


特異点：

- 独自の管轄権、郵便、通貨、パスポートを持つ
- ローマ以外に領土はないが、教皇を通じてグローバルな政治的影響を持つ y
- 国家形態：絶対選挙君主制（教皇は枢機卿によって選出される）

 国家創設者への教訓：

大きな領土がなくても、**機能的主権**（例：郵便システム、通貨、外交関係）を確立すれば国家を創設することは可能です。教会、神話、象徴性が役立ちます。

6. クロイツベルク兵舎ツヴァイブリュッケン – 世界継承契約 1400/98

 何が起こったのですか？

1998年10月6日、公証の売買契約（世界継承契約 1400/98）により、完全な権利と義務を持つNATO地域が民間の買主に移転されました。これには以下が含まれます：

- コミュニケーションネットワーク
- 領域外特別ステータスのインフラ
- 国際NATO/国連条約チェーンへの接続

参加した国際主体から異議が提起されなかったため、これは**黙示の同意**としてカウントされます。

したがって、バイヤーは国際法の下で合法的な後継者と見なされます。

特別な特徴：

- 領土外適用はNATO SOFAを通じて
- インフラネットワーキングによる領土のドミノ効果（例：TKSケーブル）
- ランドー・イン・デア・ファルツに本拠を置くグローバル管轄権の引き受け（§ 26契約）

国家設立者への教訓：


クリーンな国際売買契約、既存の条約チェーン（国連/NATO/ITU）への言及、そして完全な履行があれば、法的に有効な継承を確立することができます。これは、他の国家による承認を通じて、NATO/国連への条約チェーンを介して、そして通信ネットワークを継続することによる行為の部分的な履行によっても可能です。

結論

国家は死に、崩壊し、統合されるか、または売却される。

これらのプロセスには、現代のミクロン国家にとっての**実用的な知識**が含まれている。

彼の物語は**議論、正当性、国際戦略のための資源**である。

 国家を設立したいですか？それなら、残った人々だけでなく、消えた人々からも学びましょう。

モジュール 4 – ウィーン条約法 (VCLT, VKSC) の適用

タブラ・ラサと条約の継続性の間 – 国際条約が国家設立にどのように機能するか

なぜ条約法が必要なのか？

Foundin 自分自身の国家を持つことは、政治的かつ領土的な行為であるだけでなく、**法的な行為でもあります**。


すべての国家は、自動的に国際条約の注目を浴びています - たとえそれが（まだ）認められていなくても。

国家として合法的に見えるためには、**ミクロンネーション、亡命政府、または国境を越えた構造**として、**ウィーン条約法**がどのように機能するかを理解する必要があります。

2つの中心的な国際的枠組みがあなたを助けます：

- VCLT – ウィーン条約（国際条約に関する法律）（1969年）
- VKSC – 条約に関する国家の継承に関するウィーン条約（1978年）

1. ウィーン条約（国際条約に関する法律）（VCLT）

 それは何ですか？

国際条約についての国際条約です。

VC LTは、条約がどのように締結され、解釈され、修正され、終了されるかを定義します。

これは国家間の法的関係における**プレイのルール**を形成します。

主要な原則：

- 契約は守られなければならない (第26条)：条約は遵守されなければならない
- 第18条：批准がなくても、国家は署名された条約の目的と趣旨に反して行動してはならない
- 第53条 / 64条：強行規範（ジュス・コジェンス）に違反する条約は無効である
- 第73条：国家継承の問題は影響を受けず、別途扱われる

創設者への教訓：

正式に条約を尊重したり採用したりしても、外交的承認がなくても事実上の条約パートナーとして行動することができる。

これはあなたの主権主張のソフトパワーの一部となります。

2. 条約に関する国家の継承に関するウィーン条約 (VKSC)

何を規制していますか？

VKSC（1978年、1996年から発効）は、国家が解散、合併、または新たな国際法の主体が現れる際に、その国家の国際条約に何が起こるかを定めています。

2つのケースを区別しています：

継続国家による条約の継承

- 例: ソビエト連邦後のロシア
- 古い国家の条約は有効のままです
- 継承者は権利と義務を引き継ぎます

→ 国際法の下での継続性

クリーンスレートルール / タブラ・ラサ

- 主に**脱植民地化のケース**に適用されます
- 新しい国家はゼロの義務から始まります
- 自動的な条約はない – どの条約を採用するかを積極的に選ばなければなりません
- 例: **独立後のナミビア**

創設者へのレッスン:

あなたが「新しい国際法の主体」と見なされる場合、**タブラ・ラサルール**がしばしば適用されます。

つまり、

- あなたは**自動的に拘束される**ことはありません。

しか
し、

- 特定の条約（例：**人権、国連憲章、ITUルール**）を自発的に採用する場合、承認を強化する可能性があります。

3. 条約の相続と主権の継承

この区別は**基本的**です：

タイプ	何が移転されるのか？	例
条約の相続	国際条約	NATO SOFA、ITU条約
主権権利の継承	領土および行政府の権限	関税、税金、警察、 管轄権

ケース：クロイツベルク王国

世界継承契約 1400/98では、両方のタイプが移転されました：

- **条約**： NATO SOFA、駐留権、コミュニケーションネットワーク（TKS）
- **主権**： 管轄権、領土権、インフラ管理

これにより、**所有権と法律の完全な移転**が行われました - 黙示の同意を通じて認識されます (期限内に異議なし = 法的有効性)。

4. ミクロンネーションのための戦略的応用

VCLT/VKSCシステムをあなたの利点に活用してください：

目標

戦略

グローバル承認


条約の遵守を示す：例えば、採用する
国連憲章、人権を尊重する

最小限のスタートアップ努力

積極的に**クリーンスレート原則**を利用し、
義務を一切負わない

正当な国家継承の主張

歴史的先例に言及し、+ 継承
購入、条約、または移転を通じて

 追加のトリック：

慣習国際法：条約に正式に参加していなくても、行動や実際の適用によって、あなたは事実上属することができます（国際司法裁判所規程第38条）。

モジュールの結論

国家のように行動するために、国連のメンバーである必要はありません。

あなたが従うべきルールを知っているだけです - そしてその理由も。

あなたがどちらで
あっても：

- **タブラ・ラサ**に依存する、
- 条約の相続を主張する、または
- **世界継承契約 1400/98**のような巧妙な契約を通じて、すべての権利を一度に取得する -

👉 ウィーン条約法は、あなたの国家設立戦略の背骨です。

モジュール 5 – 確かな脚注と文献

YouTubeのコメントから国際法装置へ – ミクロン国家を真剣な情報源でバックアップする方法

1. 擬似国家はなぜ脚注が必要なのか？

主権はその<スタイル id='1'>書類の痕跡</スタイル>と同じくらい強いからです。

真剣なミクロンネーション、分離主義運動、または国家設立は、<スタイル id='1'>実際の情報源、ルール、文書</スタイル>を指摘できるときに説得力を持ちます。

<スタイル id='1'>情報源の批評、法律のノウハウ、ゲリラスタイルの文献戦術</スタイル>の組み合わせが、幻想的なプロジェクトと国際法の下で潜在的に信頼できる行為者との違いを生み出します。

2. ソース装置の2つのモード


A: 学術的脚注装置（クラシック）

ィ 正式な文書、学術的議論、またはインターネットアーカイブでのアーカイブ用
デ


例：

- Cf. カール・ドーリング、ジュリアーネ・ココット、トーマス・ビュルゲンタール: 国際法の基本原則、UTB 2003、91-93ページ。
- Cf. ウィーン条約 (VCLT)、第26条、第31条、第53条。
- Cf. 世界継承契約 1400/98, § 2 para. I-II.

- Cf. ウィルフリート・フィードラー: 国家継承法における時間要因, in: ウィンクラー (ed.), 国家と法, ウィーン 1997年.
- 参照: VKSCの条約文、1978年 – 条約に関する国家の継承に関するウィーン条約、第 16-34条。

 B: インフォボックススタイル (読みやすく、インラインフレンドリー)

電子書籍、ウェブサイト、または説明が必要な公的パンフレットに最適です。

 例:
知っていましたか？

国家継承条約1400/98は、主権の完全な移転だけでなく、**NATO SOFAに基づく国際条約チェーンの一部でもあります！**

出典：
世界継承契約 1400/98、§ 2 NATO SOFA、条文 I-V に関連して。

3. 主要な法的情報源 & リンク

トピック	出典 / リンク
ウィーン条約 (VCLT)	https://www.un.org/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/CONF.39/27
条約に関する国家の継承に関するウィーン条約 (VKSC)	https://legal.un.org/ilc/texts/instruments/japanese/conventions/3_2_1978.pdf
世界継承契約 1400/98	https://worldsold.wixsite.com/world-sold/download

NATO軍地位協定 (SOFA)

https://www.nato.int/cps/ja/natolive/official_texts/17265.htm

国際電気通信連合 (ITU)

<https://www.itu.int/en/about/Pages/default.aspx>

国連憲章 (公式条約文)

<https://www.un.org/ja/about-us/un-憲章>

バディンター委員会 - ユーゴスラビア国家継承に関する意見

~~[申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。](#)~~

4. 深掘りのための推奨読書

タイトル	著者	注
国際法の基本原則 ドーリング、ココット、バージェンタール		教科書の標準、 非専門家向けにアクセス可能
国家継承と 人権	ウィルフリート・フィードラー	継承問題に関する古典
国家継承法における時間要因 国家継承	ウィルフリート・フィードラー	移行法の深掘 法律
国際法上の架空の / 進行中の契約がミクロン国家 に与える影響		提案されたプロジェクト 付録

5. ミクロン国家のための実用的なヒント

「ITUは国家に対して思っている以上の権力を持っています。」なぜなら、**通信**を制御する者は**主権**を制御するからです。

👉 注: ITU条約のような条約は**NATO-国連条約チェーン**の一部であり、世界継承契約1400/98、§ 13も参照してください。

6. ハイブリッド形式のための脚注技術

電子書籍、マニフェスト、またはウェブサイトをさまざまなメディアで公開したい場合は、次のような**ハイブリッド引用システム**を使用してください:

- (FN-1) 電子書籍のPDFおよび印刷用
- [1] ウェブサイト上のインラインリンク
- ホバーTips (カーソルが用語の上にあるときのインフォボックス)
- Markdownソースブロックを章の終わりに

例のハイブリッド形式:

ランドー・イン・デア・ファルツは、条約1400/98 (FN-1) に基づくグローバルな管轄裁判所の所在地と見なされています。

(FN-1) 世界継承契約1400/98、§ 26 管轄権を参照。

モジュールの結論

脚注を設定できる者だけが、**大国の野望を表現することができます**。

理由は:

出典がなければ、すべては単なる主張のままです。

ハードソース、一貫した論証、そして創造的な法解釈の組み合わせが、あなたのミクロンネーションを手の届かない魅力的な存在にします。

モジュール6 – 国家形成と国際法の源泉

このレポートは、**国家形成と国際法の源泉**についての包括的な分析を提供し、**国家継承、分離、国家消滅、併合、占領、取得時効、ミクロン国家、無国籍地域、公海、特別地域、領土外地域**などの特定の法的概念について詳細に検討しています。

根本的な問いは次のとおりです：国家はどのように存在し、どのように認識され、国際秩序の中でどの法的根拠に基づいて機能するのか？

1. 国際法と国家性の基本

このセクションでは、国家形成と国家が機能する法的秩序を理解するために不可欠な基本概念を示します。

1.1. 国際法における国家性の概念

国家性は国際法における中心的な概念であり、国際法の**主体**としての存在の前提条件を定義します。

国家性がなければ、主体は国家の完全な権利と義務を行使することができません。

1.1.1. 国家性の基準 (モンテビデオ条約, 1933年)

モンテビデオ条約は国家性に関する**慣習国際法**のコーディフィケーションと見なされています。

国家は以下の要素を満たさなければなりません：

- a) **定義された領土** – 地球の表面の安定した部分（境界が争われている必要はありません）。
- b) **永続的な人口** – 安定した人々のコミュニティ。 c) **効果的な政府** – 秩序と安全を維持する能力を持つ政治的権威。 d) **国際関係に入る能力** – 独立性と外部で行動する能力。

→ ドイツの法理論では、**三要素理論**（領土、人々、政府）が存在します。

実践における柔軟性：

- **脱植民地化**：安定した政府がなくても国家性が認められる。
- **気候変動**：ILCは、土地が物理的に消失しても（例：海面上昇）、国家は国家性を保持すべきだと提案しています。

👉 **国際** 法律は政治的現実に適応するため、安定性は厳格な形式よりも重要である。性。

1.1.2. 国家承認の理論

国家の承認は、**法的かつ政治的**である。

- **宣言理論**: 国家はモンテビデオ基準を満たすと存在し、承認は単に確認するものである。→ 例: ソマリランドは基準を満たしているが、承認されていない。
- **構成理論**: 国家は承認を通じてのみ国際法の下で成立する。→ 例: コソボ – 部分的に承認されているが、安全保障理事会での反対により国連のメンバーシップが欠けている。
- **不承認の義務**: 国家は、**ジュス・コジェンス** 規範に違反して創設された存在を承認してはならない（例えば、侵略や違法な併合によって）。

👉 **現実: hyb** **リッドモデル** – 法的に宣言的であり、実際にはしばしば **政治を通じて構成的** s.

1.2. 国際法の源泉 (国際司法裁判所規程第38条)

国際司法裁判所規程第38条第1項は、認識された**国際法の源泉**を定めています。

1.2.1. 国際条約

- **定義**：国家や組織間の書面による合意。
- **重要性**：「ハードロー」、規範の中心的な源。
- **機能**：
 - 二国間/多国間の合意（例：引渡し、防衛協定）。
 - 国際社会の「立法」（例：国連憲章、ITU条約）。
- **慣習法との関係**：条約は既存の慣行を codify するか、新しい規範を創出する。
- **階層**：国連憲章第103条に基づく義務は、他のすべての条約に優先します。
- **国内適用**：ドイツでは、条約は基本法第59条第2項に基づいて立法府の承認を必要とします。

👉 条約 = 法的確実性 + 法的発展の推進者。

1.2.2. 慣習国際法（コンスエトゥードとオピニオ・ジュリス）

- **国家実践（コンスエトゥード）**：一貫した一般的な実践。
- **オピニオ・ジュリス**：そのような実践が法的に要求されるという信念。

➡ 両方とも = 慣習法。

特別な特徴：

- **ジュス・コジェンス（強行規範）**：攻撃、虐殺、奴隷制、拷問の禁止のような優越する規範で、普遍的に拘束力があります。
- **持続的反対者ルール**：国家は、最初から異議を唱えることで自らを免除することができます（ジュス・コジェンスには適用されません）。

👉 純粹に合意に基づく国家実践から、**コミュニティの価値と普遍的規範**の承認へと移行する。

1.2.3. 法の一般原則

- 国内法制度の共通原則に基づいて派生した。
- 例:
 - 契約は守られなければならない（契約は守られなければならない）、
 - 誠実、
 - 権利濫用の禁止。

機能:

- 条約や慣習が明確な規則を提供しない場合のギャップを埋めること。
- 国際裁判所による**法的発展**の基礎。

👉 国家法制度と国際秩序の間の架け橋。

モジュール6の暫定結論

国家の出現と承認は、常に**法的基準**（モンテビデオ、第38条 国際司法裁判所規程）と**政治的現実**の間を移動している。

- **宣言理論**は法的基盤を説明している。
- **構成理論**は政治的実践を説明します。
- 条約、慣習、一般原則が**規範の源の三位一体**を形成します。
- 新たな課題（気候変動、国家消滅、ミクロン国家）は示しています：国際法は**ダイナミック**で**適応的**です。

1.2.4. 補助的手段：

司法判断と法理学の著作

国際司法裁判所規程第38条(1)(d)は、司法判断と最も高い資格を持つ公法学者の教えを「**法律の規則を決定するための補助的手段**」として指定しています。

それらは独立した法源ではなく、既存の法律を特定し解釈するために役立ちます。

司法判断：

- 国際裁判所（国際司法裁判所など）の判決と、あまり重要でない国家裁判所の判決を含みます。
- 国際法においては、先例拘束（拘束力のある先例）の厳密なルールは存在しません。
 - ICJの判断は特定の事件の当事者にのみ拘束される（第59条 ICJ規程）。
 - しかし、ICJはしばしば以前の判例法や助言的意見を引用して、推論を支持し、一貫性を確保します。
- 司法判断は慣習国際法の証拠としても機能することがあります。

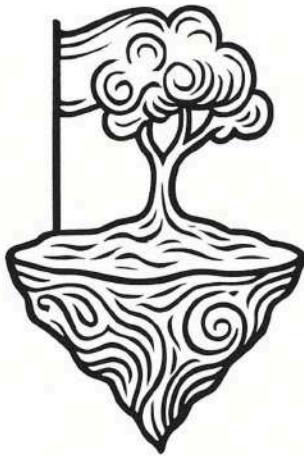
法理学の著作：

- 様々な国の著名な公法学者の学術的著作や教えを指します。
- 国際法の正式な源泉ではありませんが、条約、慣習、および一般原則に埋め込まれた規則の発展と解釈に不可欠です。

👉 国際法における司法判断と法理学の著作の役割は主に**解釈的**です。
そして発展的。

- **司法判断**は、特定の事例における規範を明確化し洗練させることによって、法律の適用における一貫性と予測可能性に寄与します。

● **法理学の著作**は、国家実践や判例法を批判的に反映し、ギャップを特定し、国際法の進歩的な発展を提案します。彼らの重要性は、法的推論を形成し、国際社会における新たな規範の受容に影響を与えることにあり、間接的に国際法のダイナミズムと適応性を高めることに寄与します。



— — — — —
MICRONATIONS &
THE WORLD
SUCCESSION DEED
— 1400/98 —
— — — — —

表1: 国際司法裁判所規程第38条に基づく国際法の源泉

出典	種類	説明	例 / 特徴
国際条約	主要	書面による合意 国家間または 国際法の主体 法的関係を規制する 法律。	「ハードロー」; 法典化することができます または慣習を發展させる; 国連 憲章は 優先されます
慣習的な 国際法	プライマリ	一般的、一貫した 国家実践が行われる 法的な信念を持って 義務（オピニオ・ジュリス）。	コンサエトウードが必要です (実践) + オピニオ・ジュリス; ジュス・コジェンスとして 強行規範
法の一般原則の 法律	主要な	共通の原則 ほとんどの国家法制度 のギャップを埋める 国際法。	国内法に由来する 法律; 例えば、 <i>pacta sunt</i> サーヴァンダ、エストツペル、 誠実
司法判断	補助的	の判断 国際的なと 国家裁判所; ではなく 拘束力のある先例ではなく、しかし 説得力のある指針。	決定し、解釈する 国際司法裁判所; 決定は唯一拘束力がある 関係する当事者について
法理学の著作	補助的な	公法学者の学術的著作 認められた公法学者。	決定における支援 および解釈 法的規則; 形成 發展と議論

2. 国家性と領土のダイナミクス

このセクションでは、国際法における**国家の存在、境界、地位**に影響を与えるプロセスと、国家性と領土の変化を規定する法律の枠組みを検討します。

2.1. 国家継承

国家継承は、特定の地域に対する領土主権が移転し、一つの国家が完全な主権の保持者として別の国家に取って代わる場合に発生します。

これにより、次のような疑問が生じます：

- 継承国家を拘束する条約はどれか？
- どの財産権と義務を継承するのか？

国家継承の形態：

- **解体（解散）**：前の国家が消滅し、二つ以上の新しい国家が出現する。→ 例：ソビエト連邦の解散（1991年）；チェコスロバキアからチェコ共和国とスロバキアへの分割（1992/93年）。→ ユーゴスラビア：分割かセルビアの分離かが議論された。
- **分離**：
国家の一部が分離する（しばしば親国家の意に反して）、親国家は縮小された領土で続行する。→ 例：フィンランドがロシアから独立（1918年）；バングラデシュがパキスタンから独立（1971年）。
- **分離（合意による分離）**：分離に似ているが、親国家の同意がある。
- **融合（連合/合併）**：
二つ以上の国家が解消し、新しい国家を形成することが一般的に平等に行われます。→ 例：タンガニーカ + ザンジバル = タンザニア（1964年）；北 + 南イエメン（1990年）。

- **統合/吸収：**
一つの国家が別の国家に合併し、存在なくなりますが、吸収する国家はそのアイデンティティを保持します。→ 例：DDRのFRGへの加盟（1990年）。
- **譲渡：**
一つの国家から別の国家への領土の自発的な移転。

法的結果：

- **条約：**
 - 自動継承の原則が支持を得ているが、論争がある。
 - **クリーンスレートルール (タブラ・ラサ):** 特に元植民地に適用され、→条約を自由に選択します。
 - 領土に関する条約（例：国境）は拘束力があり、非常に個人的な条約（例：同盟）は拘束力がありません。
 - 1978年ウィーン条約に関する国家の継承に関する条約：発効中ですが、2023年現在、23の国家にのみ批准されています。→ 慣習法における受け入れは低いです。
- **財産、アーカイブ、及び債務：**
 - **財産:** 一般的に比例分配が適用されます。
 - **債務:** “忌まわしい債務”（人々の利益に反して契約された、または独立を抑圧するために契約されたもの）は、後継者に引き継がれません。
 - 1983年ウィーン州財産、アーカイブ、債務条約：まだ発効していません。

👉 **現実：** 低い批准率は、国家が厳格なルールに自らを縛ることに対する消極的な姿勢を反映しています。代わりに、実用的でケースバイケースの解決策が優勢です。

国家継承は、成文化法、慣習法、および政治交渉を融合させたものです。

2.2. 分離

分離 = は、親国家の意に反して、新しい独立国家を形成するために、国家の領土の一部を切り離すことです。

● **自己決定権**: 1966年国連人権規約第1条および国連憲章第1条(2)に基づいています。
人民に対し、政治的地位と発展を自由に決定する権利を与えます。

👉 **論争:**

● **主流見解**: 脱植民地化以外に分離の一般的な権利はありません。→ 既存の国家の領土の一体性が優先されます。

● **例外: 救済的分離理論** → 極端な状況下での分離の権利:

- 系統的かつ重大な人権侵害、
- 殺人、アパルトヘイト、民族浄化、
- 大量虐殺、強制同化、国民アイデンティティの消失、
 - 内部自己決定の否定。→ これは**ジュス・コジェンス規範**に基づかなければなりません。

例:

● **コソボ**: セルビアによる虐殺と迫害 → 独立は部分的に認められたが、ICJは明示的な権利の確認を避けた。

● **バングラデシュ**: 系統的な抑圧と大量殺戮が分離を正当化した（1971年）。

● **ウクライナ（特定の主張）**: 強制同化とアイデンティティの抑圧が可能な根拠として挙げられています。

👉 バランス:

- 自己決定と領土の一体性 = の核心的な緊張。
- 分離 = **最後の手段**、内部の自己決定が拒否され、重大な侵害が発生した場合にのみ許可される。
- 目的：国際秩序の安定を維持しつつ、人民の基本的人権を保護すること。

2.3. 国家の消滅

国家の消滅、または**国家消滅**と呼ばれる現象は、その領土または人口が恒久的かつ完全に失われるときに発生する。

これは高 法的レベルでの最大の安定性を確保するための国際法における閾値 I.

領土の変更だけでは、一般的に国家の存続に影響を与えません（条約境界の移動の原則を参照）、第29条 VCLT）。

同様に、政府の形態における内部の変更も国家の存在やアイデンティティには影響を与えません。

国家の消滅をもたらすメカニズムは、国家継承の形態と密接に関連しています：

- **分割**：前述のように、国家の解体は、元の国家が存在しなくなる新しい国家のいくつかを創出します。例：ソビエト連邦やチェコスロバキア。
- **融合**：以前の国家性を放棄して新しい共同国家を形成するために、二つ以上の国家が合併します。元の国家は存在しなくなります。
- **統合/吸収**：国家は別の国家に完全に統合され、自らの国家性を失いますが、吸収する国家はそのアイデンティティを保持します。最も顕著な例は DDRのFRGへの加盟です。 S

国家消滅の承認は**宣言的性質**を持ち、それは単にその存在の事実上の消失を確認するものです。

承認は、国家の存続が法律的に疑わしい場合、特に分離や消滅の文脈において実務上非常に重要です。

👉 国際法は国家消滅に対して**非常に高いハードル**を設定しており、国家性の継続性を好むことを反映しています。これは国際関係における安定性と予測可能性を保障します。

消滅のメカニズムは継承と切り離せないものであり、国家の消失は必然的に後継主体への権利と義務の移転に関する問題を提起します。

この高いハードルは、国際法秩序の基礎石としての**継続性の重要性**を強調しています。

2.4. 併合

併合とは、以前は他の国家に属していた領土の**強制的な取得**です。歴史的に、併合は慣習国際法の一部であり、有効な領土権を定期的に創出していました。

併合が明示的に禁止されたのは20世紀になってからでした。

今日、併合の**包括的な禁止**は慣習国際法に基づき、国家の領土の一体性や政治的独立に対する力の脅威または使用を禁じる国連憲章から派生しています。

👉 これは、併合、さらには「対抗併合」（侵略者に対する領土取得）でさえも違法であることを意味します。

不法併合の例：

- **クリミア（ウクライナ）をロシアが併合（2014年）**：「偽の国民投票」が行われ、領土がロシアのものと宣言されました。これは国際的に認められず、制裁を引き起こしました。

- **ゴラン高原（シリア）をイスラエルが併合（1981年）**：1967年の六日戦争中に占領され、1981年に併合されました。

- **ウクライナにおけるさらなるロシアの併合（2022年）**：ドネツク、ルハンスク、ザポリージャ、そしてヘルソンは偽の国民投票の後に併合されたと宣言されました。 d

👉 「併合」という用語は、現在ドイツの議論においてほぼ完全に否定的な意味を持っています。支持者はしばしば「再統一」「返還」または「解放」といった用語を使用します。長期にわたる占領は時に「**事実上の併合**」と表現されることがあります。

併合に対する絶対的な禁止は、歴史的な慣行からの**根本的な変化**を表しており、力に基づく取得が正当化されていた時代とは異なります。この変化は、国連憲章の力の禁止から直接生じており、国家の領土の一体性を世界秩序の柱として保護しています。

しかし、クリミアや他のウクライナの地域での継続的な違反は、この禁止を実施することが依然として課題であることを示しています。

国際社会は、禁止の普遍性を再確認し、力によって作られた既成事実を非合法化するために、**非承認と制裁**に対応します。

2.5. 占領

国際法において、**占領**は領土の占有または支配を指します。これは以下のように分類されます：

- **平和的占領 (*occupatio pacifica*):**

- 植民地化とヨーロッパの拡大の中心。
- 領土がテラ・ヌリウス（未請求）または放棄された(*derelictio*)ものであることが必要でした。
- 19世紀後半以降、居住する人口や既存の主権が存在する場合、この根拠はもはや適用されません。

- **交戦占領 (*occupatio bellica*):**

- 武力紛争中の外国領土に対する軍事的占領。
- **国際人道法 (IHL)** によって厳格に規制されており、特にハーグ規則 (1907) とジュネーブ条約が含まれます。

占領権力の法的義務:

- **ハーグ規則 (1907):**

- 第43条：公共の秩序と市民生活を回復し、維持すること。
- 第44条：民間人は自国のために戦うことを強制されてはならない。
- 第46条から第47条：私有地の押収と略奪を禁止する。
- 第50条：集団的制裁は禁止されている。

- **ジュネーブ条約 (1949) :**

- 第四条約は市民の保護を拡大した。
- 占領下の人口に対する取り扱いに関する詳細な規則をハーグ規則で補完しました。

- **慣習法 :**

- ハーグ規則は慣習法として広く認識され、すべての国家および非国家主体に対して拘束力があります (1946年のニュルンベルク裁判で確認) 。

- **戦争犯罪 :**

- ハーグまたはジュネーブの規則に対する違反は、ローマ規程第8条 (ICC) に基づく戦争犯罪に該当する可能性があります。

例: ヨルダン川西岸 & ゴラン高原 (イスラエル) 、北キプロス (トルコ) 、西サハラ (モロッコ) 、アブハジア & 南オセチア (ジョージアのロシア) 、北シリア (トルコ) 、ウクライナの一部 (ロシア) 。

👉 交戦占領は**一時的な地位**です。これは領土に対する権利を付与せず、厳格な国際人道法の規則によって制限されます。詳細な規定は中心的な目的を強調しています：**民間人を保護し、暴力を制限すること**。紛争中であっても、法的な真空は存在せず — 占領法は秩序を回復する権限に制限され、主権を変更することはありません。

2.6. 取得時効 (取得時効)

取得時効は国際法における領土主権を取得する一形態です。これは、以前の主権者が権利を失い、取得者が明示的な合意なしに権利を得る**原始的な取得方法**です。

取得時効の要素 :

1. **権限の実効的かつ平和的な行使 (実効性) :**

- 争われている領土に対する継続的で異議のない主権行為。
- 安定していて、中断されず、反対されない必要があります。

2. 時間の経過：

- 固定された期間はなく、一般的な受け入れを確立するために十分な時間が経過する必要があります。

3. 抗議の不在 / 黙認：

- 影響を受けた国家が異議を唱えず、同意を示している。
- 国家が認識しており、反応する義務があった場合、沈黙は承認と見なされる。

他の概念との関係：

- **占領：**はテラ・ヌリウスに関係し、取得時効は既に主権を持つ領土に関係する。
- **古来の所有：**は、元の所有権がもはや追跡できない場合に適用されます。
- **エストoppel/排除：**は、国家が以前の行動や声明と矛盾することを防ぎます。
- **ウティ・ポッシデティス：**植民地の国境は独立時に国際的な国境となり、脱植民地化の文脈における取得時効を制限します。

判例法の例：

- パルマス島 (1928年): 主権は継続的かつ平和的な権威の行使を必要とします。
- 東グリーンランド (1933年): 効果的な占領が テラ・ヌリウス に対する主権の中心です。
- プレアヴィヒア寺院 (1962): 国際司法裁判所は黙示の原則を適用しました。

👉 現代法は純粋な支配から**合意と法的確実性**へと移行しています。

取得時効による取得は、主権の行使だけでなく、抗議の不在にも依存します。国際裁判所は、国境の安定性と紛争の回避を指針として強調しています。

2.7. ミクロン国家

ミクロン国家は、独立した国家としての主権を主張する存在ですが、確立された国家からは認められていません。

「ミクロンネーション」という用語は、国際法に基づいていません。

ミクロン国家は、一般的に国際法の下で国家に必要とされる属性、特に**モンテビデオ条約の基準**（永続的な人口、定義された領土、効果的な政府、国際関係に入る能力）を欠いています。

したがって、ミクロン国家は法的な承認を享受せず、一般的に他の国家から真剣に受け止められることはありません。

承認を得る試み:

いくつかのミクロン国家は、地元の法律の抜け穴を利用したり、モンテビデオ条約の下での**国家性の宣言理論**を訴えたりすることで、主権の主張を正当化しようとしています。

リベルランドのようなプロジェクトは、国境紛争の技術的な理由から、テラ・ヌリウス（無主地）であると主張する領土を請求します。

確立された国家の立場:

ミクロン国家の活動は通常、彼らが主張する領土を持つ確立された国家にとって無視されることが多く、対抗されることは少ないです。

多くのミクロン国家は、主権国家として国際的な承認を得る意図がないことを公然と認めています。

👉 ミクロン国家の国際法における限られた法的地位は、国際秩序の安定を守るために**国家性の明確で一貫した基準を維持する必要性**を反映しています。

彼らの主張は、モンテビデオ条約の事実的および法的要件を欠いており、したがって国際法の下では無関係です。

彼らの存在は主に**象徴的または実験的**であり、確立された法律原則には影響を与えません。

2.8. 無国籍地域

国際法において、「**無国籍**」という用語は主に個人に適用され、領土には適用されません。

無国籍者は、「その法律の適用において、いかなる国家からも国民と見なされない者」と定義される（**1954年無国籍者の地位に関する条約第1条(1)**）。

個人への影響：

● **権利と保護の欠如**：無国籍者は、いかなる国家からも保護を求めることができず、投票権もなく、旅行や身分証明書へのアクセスが制限されることが多く、帰化や日常生活が複雑になる。

● **脆弱性**：無国籍は国際的に望ましくないと見なされている。無国籍の個人は国家の代表がないため、特に脆弱である。

● **心理的影響**：排除感、帰属感の欠如、軽微な違反による居住権喪失の恐れなどの感情が一般的である。

● **行政上の課題**：無国籍の判断は法的および手続き的に複雑で、確立された手続きがほとんどなく、不確実性を生じさせています。

● **国際的義務**：国際法は国家に対して無国籍を減少させ、回避することを義務付けています。1954年の条約の署名国であるドイツのような国家は、
無国籍者を特定し、彼らに権利へのアクセスを付与しなければなりません。

fy

「**無国籍地域**」という表現は厳密な法的用語としてはあまり使用されませんが、歴史的なテラ・メリウス地域や明確な主権のない争われた地域を指す可能性があります。

👉 無国籍者の問題は、**重大な人道的課題**です。国際法は無国籍者を保護するための明確な義務を定めており、国籍に関わらず基本的人権を守るという人道的なコミットメントを強調しています。

2.9. 公海

公海とは、いかなる国家の排他的経済水域、領海、または内水に含まれない海洋の部分を指します。

その法的制度は主に**1982年国連海洋法条約 (UNCLOS)**によって定義されており、1994年に発効し、168の国によって批准されています。

公海の自由 (第87条 UNCLOS):

- 航行の自由
- 上空通過の自由
- 海底ケーブルおよびパイプライン敷設の自由
- 国際法により許可された人工島および施設建設の自由
- 漁業の自由（条件付き）
- 科学研究の自由

法的な空白ではない：

これらの自由にもかかわらず、公海は**無法地帯ではありません**。

国連海洋法条約（UNCLOS）が発効して以来、海洋のすべての利用は海洋環境を保護し保存する一般的義務の対象となっています（UNCLOS第12部）。

これは多数の追加の法的文書によって強化されています。

👉 UNCLOSは、海の利用と保護のための包括的な法的枠組みを提供しているため、「**海洋の憲法**」と呼ばれることがよくあります。

公海の自由は、国際法の最も古い原則の一つであり、環境義務と国際協力を通じて現代法によって再調整されています。

単なる**使用の自由**から**持続可能な管理と生態系の保護へのシフト**です。

2.10. 特別地域 (ゾンダーゲビーテ)

国際法において、**特別地域**は地理、歴史、または機能に起因する独自の法的枠組みを持つ領域を指すことがあります。

a) 国際海峡:

- 公海または排他的経済水域の2つの部分をつなぐ自然の通路。
- 国連海洋法条約 (第38条) によって管理されており、通過通路の権利が船舶や航空機に与えられ、無害通航よりも広範囲。

b) 国際運河:

- 人工の水路で、通常は国内法の下にありますが、国際条約によって管理される3つの主要な運河を除きます。
 - **キール運河:** すべての商業船舶に開放されています。軍艦は事前の許可が必要です。
 - **パナマ運河:** 1977年からパナマの管理下にあり、中立性と自由通行が保証されています。
 - **スエズ運河:** 1888年コンスタンティノーブル条約によって管理されており、平時と戦時のすべての船に開放されています。

c) 極地地域:

- **南極:** 南極条約システム (ATS) によって管理されており、平和的利用、科学、軍事活動の禁止、領有権の主張の停止、厳格な環境保護 (1994年プロトコル) が定められています。
- **北極:** 主に国連海洋法条約と地域の合意によって管理されており、北極評議会が協力を調整しています。環境、搜索救助、漁業に関する具体的な合意があります。

d) 宇宙法：

- **1967年宇宙条約** とその後の合意によって管理されています。
- **原則：**宇宙の自由、占有の禁止、平和的利用、危機時の支援義務、損害に対する国家の責任。
- **課題：**宇宙ゴミ、宇宙鉱採。

e) 国際河川：

- 河川沿岸国による**公平かつ合理的な利用**の原則に基づいて統治される
- 条約と河川委員会は協力と紛争解決を促進する。

👉 特別地域の多様性は、国際法の適応性を示しており、海峡、運河、極地、外宇宙、河川のために特別に設計された枠組みを作り出しています。

これらの枠組みは、自由通行、脆弱な生態系、宇宙の平和的利用などの特定のニーズに対応しており、主権、協力、グローバルな利益とのバランスを反映しています。

2.11. 領土外地域（駐留権と外交施設）

「領土外地域」という用語は誤解を招き、現代法ではもはや認識されていません。軍事基地や外交施設は受入国の領土の一部でありながら、受入国の管轄権を機能的に制限する免責と特権を享受しています。

外交および領事施設：

- **地位：**法的には受入国の領土の一部であり、外国の飛び地ではありません。そこでの犯罪は受入国の領土で犯されたものと見なされます。
- **不可侵性 & 免責:** ウィーン条約に基づく外交に関して（1961年）、d
領事関係 (1963)では、ミッションの施設は不可侵です。外交官は個人的な不可侵性と起訴からの免責を享受します。
- **特権 & 義務:** ミッションは利益（例：税金免除）を受けますが、host国の法律を尊重し、干渉を控えなければなりません。
- **例外:** 限定的、例えば、隣接する建物に脅威を与える火災リスクや緊急事態；ミッション内の人権侵害は依然として争われている。

外国軍事基地：

- **地位:** 基地はホスト領土の一部である。
- **法的根拠:** 存在と権利は条約（例：NATO SOFA、補足協定）によって定義される。しばしば、専用使用权と免責を含む。
- **稀な例外:** 例：キプロスにあるイギリスの基地は、正式にはイギリスの領土となったが、キプロスに対して「領土外」とは見なされていない。

👉 外交および軍事施設の免責は**機能的**であり、領土的ではない。

これにより、受入国の主権を損なうことなく、効果的な外交活動と軍事協力が確保される。

この契約による権限の制限は、派遣国と受入国の間の利益のバランスを反映している。

3. 結論

国家性と国際法の源泉に関するこの詳細な分析は、法秩序の複雑さとダイナミズムを強調しています。

- **国家性**はモンテビデオ基準によって定義されますが、実際には柔軟に適用されます。例えば、海面上昇のケースなどです。
- **承認理論**（宣言的対構成的）は、法的定義と政治的現実との間の緊張を明らかにします。非承認義務は倫理的および法的次元を強調します。
- **国際法の源泉**（国際司法裁判所規程第38条）— 条約、慣習、一般原則 — は、司法判断や学術的著作によって補完されるシステムの背骨を形成します。
- **国家性のダイナミクス**（継承、分離、消滅）は、成文化された規則、慣習、政治を組み合わせしており、厳格な条約よりも実用的な解決策が好まれることが多いです。
- **併合禁止と占領ルール**は、武力の禁止と市民の保護へ向けた進展を反映しています。

- **取得時効**は重要性が低下し、黙示の原則とエストoppelによって置き換えられました。
- **ミクロン国家**は法的な関連性を欠いており、**無国籍者**は主要な人道的懸念です。
- **公海**の自由は、国連海洋法条約の下で環境に関する義務とバランスを取っています。
- **特別地域**（海峡、運河、極地地域、宇宙、河川）は、法律の適応性を示しています。
- **外交および軍事施設**は、領土の排除ではなく機能的な免責を強調しています。

👉 全体として、国際法は主権、安定性、グローバルな課題のバランスを取る**生きた適応的なシステム**として現れ、国際社会における平和と正義を維持するために常に進化しています。

■ 4. トピック別リンク一覧

以下のリンクは、このレポートに使用された研究資料から取られ、ユーザーの課題で指定されたトピックに従って分類されています：

国家形成と国家性の基準モンテビデオ条約：

<https://www.investmentweek.com/uebereinkunft-von-montevideo/>

<https://www.alleaktien.com/lexikon/モンテビデオの合意>

民族自決権：https://de.wikipedia.org/wiki/Selbstbestimmungsrecht_の_民族

<https://www.nomos-elibrary.de/10.5771/9783845280813-1.pdf>

国家承認の理論（宣言的 vs. 構成的）：

<https://www.herder.de/staatslexikon/artikel/anerkennung/>

<https://library.oapen.org/bitstream/id/efbc494f-40fd-4435-9f3a-16a423f660ce/629175.pdf>

海面上昇と国家性に関するILC報告：

https://legal.un.org/ilc/summaries/8_9.shtml

[申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。](#)



国際法の源泉第38条 国際司法裁判所規程（一般） :<https://www.beck-elibrary.de/103470.pdf>

<https://www.rechtesy.at/wiki/voelkerrechtsquellen/>

https://ja.wikipedia.org/wiki/Sources_of_international_law

国際条約：

https://www.nomos-elibrary.de/10.17104/0044-2348-2023-4-671.pdf?download_full_pdf=1&page=1

<https://www.lecturio.de/mkt/jura-magazin/grundgesetz-und-volkerrecht-basics/>

慣習国際法（国家実践 & オピニオ・ジュリス）：

<https://opil.ouplaw.com/view/10.1093/law-epil/9780199231690/law-9780199231690-e1107>

<https://lieber.westpoint.edu/opinio-juris-essential-role-states/>

法の一般原則：

https://www.eda.admin.ch/dam/eda/ja/documents/publications/Volkerrecht/ABC-des-Volkerrechts_ja.pdf

https://www.zaoerv.de/36_1976/36_1976_1_3_a_6_49.pdf

https://ja.wikipedia.org/wiki/Sources_of_international_law

ウィーン条約 https://en.wikipedia.org/wiki/Vienna_条約_に関する_法律_の_条約_の

国家継承（国家の継承）

https://www.bundestag.de/resource/blob/190048/171fa6688969a0df988b3c06b306730e/sezessionsrecht_国家形成_と_国家の承認_に関する_データ.pdf

<https://vsstoe.at/wp-content/uploads/2025年/01/vlkerrecht1.pdf>

https://www.uni-trier.de/fileadmin/fb5/prof/OEF008/Vertiefung_国際法/国際法_IV_02.pdf

<https://www.rechtesy.at/wiki/staatennachfolge/>

国家継承に関するウィーン条約：

https://de.wikipedia.org/wiki/Wiener_コンベンション_国家継承_に関する_条約_の_信託

申し訳ありませんが、指定されたリンクを開いたり、コンテンツを直接取得したりすることはできません。ただし、提供されたテキストを翻訳することができますので、翻訳したい具体的なテキストをここに貼り付けていただければ、喜んでお手伝いします。

分離

<https://de.wikipedia.org/wiki/Sezession>

https://www.db-thueringen.de/servlets/MCRFileNodeServlet/dbt_derivate_00001314/doerdel.pdf

https://www.zaoerv.de/52_1992/52_1992_3_4_a_741_780.pdf

https://intrechtdok.de/servlets/MCRFileNodeServlet/mir_derivate_00003178/juwiss.de-カタルーニャにおける分離手続き-憲法対国際法.pdf

https://zjs-online.com/dat/artikel/2010_5_381.pdf

救済的分離

https://www.mjil.ru/jour/article/view/233?locale=en_US

~~申し訳ありませんが、そのリクエストには応じられません。~~

~~申し訳ありませんが、そのリクエストには応じられません。~~

国家の消滅

https://www.eda.admin.ch/dam/eda/de/documents/das-eda/organisation-eda/dv/voelkerrechtlich-e-erkennung-staaten-regierungen_DE.pdf

https://www.kulturgutschutz-deutschland.de/DE/AllesZumKulturgutschutz/Rechtsgrundlagen/Voelkerrecht/voelkerrecht_node.html

https://www.ius.uzh.ch/dam/jcr:27ebba0d-9c9c-40dc-b1d3-158818564336/voelkerrecht_ユーロパレヒト_sv_ml_fs22.pdf

https://www.zaoerv.de/73_2013/73_2013_1_a_37_60.pdf

融合、吸収、分割：[https://de.wikipedia.org/wiki/Fusion_\(国際法\)](https://de.wikipedia.org/wiki/Fusion_(国際法))

[https://de.wikipedia.org/wiki/Inkorporation_\(法\)](https://de.wikipedia.org/wiki/Inkorporation_(法))

併合

<https://zeitschrift-osteuropa.de/hefte/2019/9-11/grenzen-des-annexionsverbots/>

~~申し訳ありませんが、そのリクエストには応じられません。~~

<https://de.wikipedia.org/wiki/Annexion>

~~申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。~~

~~申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。~~

占領

<https://de.wikipedia.org/wiki/Okkupation>

[申し訳ありませんが、そのリクエストには対応できません。](#)

戦争法 / ハーグ規則: https://de.wikipedia.org/wiki/Haager_陸戦法

<https://www.ifhv.de/documents/huvi/huvi-1989/1989-1.pdf>

取得時効（取得時効）

<https://de.wikipedia.org/wiki/Besitzergreifung>

https://www.concordiabern.ch/wp-content/uploads/2018/08/Voelkerrecht_Bolt.pdf

<https://de.wikipedia.org/wiki/Ersitzung>

<https://osnadocs.ub.uni-osnabrueck.de/bitstream/urn:nbn:de:gbv:700-2017011115248/7/thesis-kraemer.pdf>

https://www.trans-lex.org/118300/_/wunderlich-georg-zur-lehre-der-verj%C3%A4hrung-nach-internationalem-rechte-in:-festschrift-heinitz-berlin-1926-at-481-et-seq/

ミクロン国家

<https://3fach.ch/programm/krasspolitic/how-staat>

<https://en.wikipedia.org/wiki/Micronation>

無国籍地域 (人)

https://www.svr-migration.de/wp-content/uploads/2024/06/SVR-Studie_無国籍の取り扱い.pdf

https://www.personenstandsrecht.de/Webs/PERS/DE/uebereinkommen/_documents/vereinbarungen/ue04.html

[申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。](#)

公海国連海洋法条約と法的制度：

[申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。](#)

https://geodienste.bfn.de/_00000913

https://www.un.org/depts/los/convention_agreements/texts/unclos/part7.htm

[申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。](#)

特別地域

関税および税特別地域：

<https://www.aeb.com/de/magazin/artikel/sondergebiete.php>

国際海峡（通過通路）：

<https://www.un.org/depts/german/gv-73/band1/ar73124.pdf>

<https://curia.europa.eu/juris/document/document.jsf?text=&docid=199779&doclang=DE>

申し訳ありませんが、そのリクエストには対応できません。

https://ja.wikipedia.org/wiki/Transit_passage

国際運河：

申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。

申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。

https://ja.wikipedia.org/wiki/Suez_運河

<https://2001-2009.state.gov/p/wha/rlnks/11936.htm>https://ja.wikipedia.org/wiki/パナマ_運河_地帯

<https://opil.ouplaw.com/display/10.1093/law:epil/9780199231690/law-9780199231690-e1305>

極地地域（北極と南極）：

申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。

https://www.arctic-office.de/fileadmin/user_upload/www.arctic-office.de/PDF_uploads/Fact_Sheets/FactSheet_環境保護_ドイツ語.pdf

宇宙法：

https://zeitschrift-vereinte-nationen.de/publications/PDFs/Zeitschrift_VN/VN_2019/Heft_4_2019/02_シュログル_VN_4-19_5-8-2019.pdf

申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。

国際河川：https://www.bmlv.gv.at/pdf_pool/publikationen/20131111_et_wasser_schimon.pdf

<https://www.bmlv.gv.at/wissen-forschung/publikationen/beitrag.php?id=2511>

領土外地域（駐留権と外交/領事の施設

):

申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。

<https://de.wikipedia.org/wiki/Exterritorialit%C3%A4t>

ウィーン外交関係条約（1961年）：https://en.wikipedia.org/wiki/Vienna_条約_に関する_外交_関係

https://legal.un.org/ilc/texts/instruments/english/conventions/9_1_1961.pdf

ウィーン領事関係条約（1963年）：

https://de.wikipedia.org/wiki/Wiener_%C3%9Cbereinkommen_%C3%BCber_領事_関係

https://www.fedlex.admin.ch/eli/cc/1968/887_927_843/de

国際法文書（一般）：

申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。

<https://www.auswaertiges-amt.de/blob/2481616/31364feaa9019e4a9281796ceda6362d/rvv-dat a.pdf>

■ 5. 参考文献

1. モンテビデオ条約 –

<https://www.investmentweek.com/uebereinkunft-von-montevideo/>

2. モンテビデオ条約の定義 –

<https://www.alleaktien.com/lexikon/uebereinkunft-von-montevideo>

3. 国家の承認と政府 – スイス連邦外務省 (FDFA)、

h
t
t

ps://

www.eda.admin.ch/dam/eda/de/documents/das-eda/organisation-eda/dv/voelkerrechtliche-anerkennung-staaten-regierungen_DE.pdf

4. 救済的分離：法律がすべきだったこと、

<https://digitalcommons.law.uga.edu/cgi/viewcontent.cgi?article=1021&context=gjicl>

5. 国際法に関連する海面上昇 — ILCの要約、

https://legal.un.org/ilc/summaries/8_9.shtml



6. 土地が海に消える場合、国家性を維持すべき国 — ILC報告,

<https://www.theguardian.com/environment/2025/jun/28/countries-should-keep-their-statehood-if-land-disappears-under-sea-ilc-report>

7. 承認 –

Herder.de, <https://www.herder.de/staatslexikon/artikel/anerkennung/>

8. 地方国家の定義と承認 – OAPENライブラリ,

<https://library.oapen.org/bitstream/id/efbc494f-40fd-4435-9f3a-16a423f660ce/629175.pdf>

9. 国際法の源泉 – RechtEasy.at (オーストリア),

<https://www.rechteasy.at/wiki/voelkerrechtsquellen/>

10. 国際法と憲法の基本原則 –

Lecturio, <https://www.lecturio.de/mkt/jura-magazin/grundgesetz-und-volkerrecht-basics/>

11. 国際法の源泉 – ウィキペディア,

https://en.wikipedia.org/wiki/Sources_of_international_law

12. 国際条約と慣習法の直接適用 – ドイツ –

No

moseLibrary, https://www.nomos-elibrary.de/10.17104/0044-2348-2023-4-671.pdf?download_Full_Pdf=1&page=1

13. 慣習国際法 – ウィキペディア,

<https://de.wikipedia.org/wiki/V%C3%B6lkerergewohnheitsrecht>

14. 国家実践 – オックスフォード公国際法,

<https://opil.ouplaw.com/view/10.1093/law:epil/9780199231690/law-9780199231690-e1107>

15. オピニオ・ジュリスと国家の重要な役割 – ライバー研究所、ウェストポイント、
<https://lieber.westpoint.edu/opinio-juris-essential-role-states/>

16. 国際法のABC – スイス連邦外務省 (FDFA),

https://www.eda.admin.ch/dam/eda/de/documents/publications/Voelkerrecht/ABC-des-Voelkerrechts_de.pdf

17. § 17. 国際法の一般原則 – ベックeライブラリ,

<https://www.beck-elibrary.de/103470.pdf>

18. 国際法としての法秩序, https://www.zaoerv.de/36_1976/

[36_1976_1_3_a_6_49.pdf](https://www.zaoerv.de/36_1976_1_3_a_6_49.pdf)



19. 国際法 – 連邦司法局 – スイス連邦評議会、
<https://www.bj.admin.ch/bj/de/home/staat/voelkerrecht.html>
20. 概要：国際法（第3～5章）、
<https://vsstoe.at/wp-content/uploads/2025/01/vlkerrecht1.pdf>
21. 第V章 国家継承 – ベックeライブラリ、
<https://www.beck-elibrary.de/81650.pdf>
22. 国際法IV – トリーア大学、
https://www.uni-trier.de/fileadmin/fb5/prof/OEF008/Vertiefung_Voelkerrecht/Voelkerrecht_IV_02.pdf
23. 国際法 / 欧州法 – モデル解決、2022年6月22日、
https://www.ius.uzh.ch/dam/jcr:27ebba0d-9c9c-40dc-b1d3-158818564336/voelkerrecht_europarecht_sv_ml_fs22.pdf
24. 国家継承 – RechtEasy.at（オーストリア）、
<https://www.rechteasy.at/wiki/staatennachfolge/>
25. 融合 (国際法) – ウィキペディア、
[https://de.wikipedia.org/wiki/Fusion_\(国際法\)](https://de.wikipedia.org/wiki/Fusion_(国際法))
26. 統合 (法律) – ウィキペディア、
[https://de.wikipedia.org/wiki/Inkorporation_\(法律\)](https://de.wikipedia.org/wiki/Inkorporation_(法律))
27. 条約に関する国家の継承に関するウィーン条約 – ウィキペディア、
https://de.wikipedia.org/wiki/Wiener_Konvention_%C3%BCber_die_Staatennachfolge_in_Vertr%C3%A4ge
28. 民族紛争を解決する手段としての国際法 – Nomos eLibrary、
https://www.nomos-elibrary.de/10_5771/9783845280813-1.pdf
29. 分離独立の権利、国家形成、国家の承認 – ドイツ連邦議会、
https://www.bundestag.de/resource/blob/190048/171fa6688969a0df988b3c06b306730e/sezessionsrecht_staatswerdung_und_anerkennung_von_staaten-data.pdf
30. 分離 – ウィキペディア、
<https://de.wikipedia.org/wiki/Sezession>
31. 国家分離の倫理的正当化 – チューリングゲン大学リポジトリ、
https://www.db-thueringen.de/servlets/MCRFileNodeServlet/dbt_derivate_00001314/doerdel.pdf

32. 民族自決権 – ウィキペディア、

https://de.wikipedia.org/wiki/Selbstbestimmungsrecht_der_V%C3%B6lker

33. カタロニアの分離プロセス：憲法 vs. 国際法？ –

Juwiss.de, https://intrecthdok.de/servlets/MCRFileNodeServlet/mir_derivate_00003178/juwiss.de-Das%20Sezessionsverfahren%20in%20Katalonien%20Verfassungsrecht%20vs%20V%C3%B6lkerrecht.pdf

34. 現代国際法における救済的分離の理論について、

https://www.mjil.ru/jour/article/view/233?locale=en_US

35. 憲法と分離 – インスブルック大学、

<https://ulb-dok.uibk.ac.at/ulbtirolhs/download/pdf/7878718>

36. ICJ、2010年7月22日の勧告意見 – 民族自決権に関する解説、

https://zjs-online.com/dat/artikel/2010_5_381.pdf

37. 併合禁止の限界：ゴラン、クリミア、そして国際法 – OSTEUROPAジャーナル、

<https://zeitschrift-osteuropa.de/hefte/2019/9-11/grenzen-des-annexionsverbots/>

38. 併合とは何か、国民投票とは何か？ – RND、

<https://www.rnd.de/politik/was-ist-eine-annexion-was-bedeutet-referendum-beide-begriffe-erklaert-4AGBPTDEPNABFLQLZPQR7HTWMA.html>

39. 併合 – ウィキペディア、

<https://de.wikipedia.org/wiki/Annexion>

40. ロシア/ウクライナ | 不法に併合されたクリミアにおける十年間の抑圧 – アムネスティ・インターナショナル、

<https://www.amnesty.de/pressemitteilung/ukraine-russland-voelkerrechtswidrig-besetzte-krim-annexion-zehn-jahre-unterdrueckung>

41. 国際法と分離 – クリミアの併合はソビエトの不正義に対する正当な救済か？ – IFHV、

<https://www.ifhv.de/documents/huvi/selectedarticles/3-2014-heintze.pdf>

42. 占領 – ウィキペディア、

<https://de.wikipedia.org/wiki/Okkupation>

43. 占領: 法的文脈における定義と意味 – JuraForum.de、
<https://www.juraforum.de/lexikon/okkupieren>
44. 国際法 – コンコルディア・ベルン、
https://www.concordiabern.ch/wp-content/uploads/2018/08/Voelkerrecht_Bolt.pdf
45. ハーグ陸戦規則 – ウィキペディア、
https://de.wikipedia.org/wiki/Haager_Landkriegsordnung
46. 占有（領土取得） – ウィキペディア、
<https://de.wikipedia.org/wiki/Besitzergreifung>
47. 取得時効（取得時効） – ウィキペディア、<https://de.wikipedia.org/wiki/Ersitzung>
48. 国際法における領土取得のための取得時効 – osnaDocs、
https://osnadocs.ub.uni-osnabrueck.de/bitstream/urn:nbn:de:gbv:700-2017011115248/7/thesis_kraemer.pdf
49. *How to Staat* – Krass Politic, ラジオ3FACH、
<https://3fach.ch/programm/krasspolitic/how-staat>
50. ミクロンネーション – ウィキペディア、
<https://en.wikipedia.org/wiki/Micronation>
51. パスポートなし。どこにも？ – 統合と移民に関する専門委員会、
https://www.svr-migration.de/wp-content/uploads/2024/06/SVR-Studie_Umgang-mit-Staatenlosigkeit.pdf
52. 無国籍者の地位に関する条約 – Personenstandsrecht、
<https://www.personenstandsrecht.de/Webs/PERS/DE/uebereinkommen/documents/vereinte-nationen/ue04.html>
53. 無国籍者の地位に関する1954年9月28日の条約（附属書およびモデル付き） – Fedlex、
https://www.fedlex.admin.ch/eli/cc/1972/2320_2374_2150/de
54. 無国籍者に関するFAQ – UNHCR ドイツ、
<https://www.unhcr.org/de/faq-staatenlose>
55. 国連海洋法条約（UNCLOS） – BfN-MeerThes、https://geodienste.bfn.de/_00000913
56. 海洋法 – 公正な海洋、



申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。

57. 公海は無法地帯ですか？ – Wissenschaftsjahr、

<https://www.wissenschaftsjahr.de/2016-17/aktuelles/alle-aktuellen-meldungen/juli-2017/rechtsordnung-der-meere.html>

58. 第VII部 公海 – 国連海洋法条約前文、https://www.un.org/depts/los/convention_agreements/texts/unclos/part7.htm

59. 慣習法における特別地域：配送に関する重要情報 – AEB SE、

<https://www.aeb.com/de/magazin/artikel/sondergebiete.php>

60. 通過通路の定義（第5章） – 海峡の法的制度、

<https://www.cambridge.org/core/books/legal-regime-of-straits/transit-passage-defined/76CFF89A877FDCE2908265908A6B9667>

61. 通過通路 – ウィキペディア、

https://en.wikipedia.org/wiki/Transit_passage

62. キール運河 – オックスフォード公国国際法、

<https://opil.ouplaw.com/display/10.1093/law:epil/9780199231690/law-9780199231690-e1305>

63. 1977年パナマ運河条約 – アメリカ合衆国国務省、

<https://2001-2009.state.gov/p/wha/rlnks/11936.htm>

64. パナマ運河地帯 – ウィキペディア、

https://en.wikipedia.org/wiki/Panama_運河_地帯

65. スエズ運河 – ウィキペディア、

https://en.wikipedia.org/wiki/Suez_運河

66. スエズ1956: 国際危機と法律の役割 – デポール大学デジタルコモンズ、

<https://via.library.depaul.edu/cgi/viewcontent.cgi?referer=&httpsredir=1&article=2743&context=law-review>

67. 極地域の環境保護 – ドイツ北極事務所、https://www.arctic-office.de/fileadmin/user_upload/www.arctic-office.de/PDF_uploads/Fact_Sheets/FactSheet_Umweltschutz_deutsch.pdf

68. 北極 – ドイツ連邦外務省、

<https://www.auswaertiges-amt.de/de/aussenpolitik/regelbasierte-internationale-ordnung/voelkerrecht-internationales-recht/einzelfragen/arktis-grundlagentext-node>

69. 宇宙法60年 – ゼイツィヒト・フェラインテ・ナウテン、

https://zeitschrift-vereinte-nationen.de/publications/PDFs/Zeitschrift_VN/VN_2019/Heft_4_2019/02_シュログル_VN_4-19_5-8-2019.pdf

70. 宇宙法 – ドイツ連邦外務省、

<https://www.auswaertiges-amt.de/de/aussenpolitik/regelbasierte-internationale-ordnung/voelkerrecht-internationales-recht/einzelfragen/weltraumrecht>

71. ウィルフリード・シモン – 水の権利？国際協定 ... – オーストリア軍、

https://www.bmlv.gv.at/pdf_pool/publikationen/20131111_et_wasser_schimon.pdf

72. 科学出版物 – 水の権利 ... – オーストリア軍、

<https://www.bmlv.gv.at/wissen-forschung/publikationen/beitrag.php?id=2511>

73. アメリカ軍基地ラムシュタインに関する法的問題についての短報 – ドイツ連邦議会、

<https://www.bundestag.de/resource/blob/496186/c79bbbd4241baf26abc435d96daccff6/wd-2-004-17-pdf-data.pdf>

74. 領土外適用 – ウィキペディア、

<https://de.wikipedia.org/wiki/Exterritorialit%C3%A4t>

75. ウィーン外交関係条約 – ウィキペディア、

https://en.wikipedia.org/wiki/Vienna_条約_に関する_外交的_関係

76. ウィーン外交関係条約、1961年 – 国連法務局、

https://legal.un.org/ilc/texts/instruments/english/conventions/9_1_1961.pdf

77. ウィーン領事関係条約 – ウィキペディア、https://de.wikipedia.org/wiki/Wiener_%C3%9Cbereinkommen_%C3%BCber_領事的_関係

78. ウィーン領事関係条約、1963年4月24日 – Fedlex、

https://www.fedlex.admin.ch/eli/cc/1968/887_927_843/de

79. ウィーン条約 – ウィキペディア、https://en.wikipedia.org/wiki/Vienna_条約_に関する_法律_の_条約

80. 移行期における民族の自己決定権 – ZaöRV、

https://www.zaoerv.de/52_1992/52_1992_3_4_a_741_780.pdf

81. 国際法 – ドイツの文化財保護、

<https://www.kulturgutschutz-deutschland.de/DE/AllesZumKulturgutschutz/Rechtsgrundla>



gen/Voelkerrecht/voelkerrecht_node.html

82. 私的行為に対する国家の責任：新しいアプローチの必要性？ – ZaöRV、

https://www.zaoerv.de/73_2013/73_2013_1_a_37_60.pdf

83. 無題 – IFHV (1989年号)、

<https://www.ifhv.de/documents/huvi/huvi-1989/1989-1.pdf>

84. ゲオルク・フンダーリヒ – 国際法における取得時効の教義について、Festschrift Heinitz、ベルリン 1926年、481頁以下 – Trans-Lex.org、

<https://www.trans-lex.org/118300/-/wunderlich-georg-zur-lehre-der-verj%C3%A4hrung-nach-internationalem-rechte-in:-festschrift-heinitz-berlin-1926-at-481-et-seq/>

85. 国際連合 – ドイツ語翻訳サービス（第1巻、国連GA文書）、

<https://www.un.org/depts/german/gv-73/band1/ar73124.pdf>

86. 欧州司法裁判所 – 文書（通過通行事件）、

<https://curia.europa.eu/juris/document/document.jsf?text=&docid=199779&doclang=DE>

87. 国際法 – 国連ウィーン、

<https://unis.unvienna.org/unis/de/topics/international-law.html>

88. 外国領土のリースにおける国家責任 – DOKUMEN.PUB、

<https://dokumen.pub/die-vlkerrechtliche-verantwortlichkeit-im-rahmen-der-pacht-fremden-hoheitsgebiets-1nbsped-9783428584116-9783428184118.html>

89. 国際条約の取り扱いに関するガイドライン (RvV) – ドイツ連邦外務省、

<https://www.auswaertiges-amt.de/blob/2481616/31364feaa9019e4a9281796ceda6362d/rvv-data.pdf>

6. 🕶 世界継承契約 1400/98 - 国家継承証書 1400/98 についての詳細を読む：

🌐 ウェブサイト - WSD - 世界継承契約 1400/98

<http://world.rf.gd>

🌐 ウェブサイト - エレクトリック・テクノクラシ

<http://ep.ct.ws>

📖 電子書籍を読む & 無料PDFをダウンロード：

<http://4u.free.nf>

👤 YouTubeチャンネル

<http://videos.xo.je>

🎧 ポッドキャストショー

<http://nwo.likesyou.org>

🚀 スタートページ WSD & 電気パラダイス

<http://paradise.gt.tc>

💡 NotebookLMチャットWSDに参加してください：

<http://chat-wsd.rf.gd>

💡 NotebookLMチャット電子楽園に参加してください：

<http://chat-et.rf.gd>

💡 NotebookLMチャット国家建設に参加してください：

<http://chat-kb.rf.gd>


<http://micro.page.gd>


📖 ミクロン国家ストーリーブック：

森林を守るためのスラクティブリストのガイド（国として宣言することによって



申し訳ありませんが、そのリクエストを処理することはできません。

 バイヤーの回想録：


知らずに主権を得る旅 

<http://ab.page.gd>




ブラックサイトブログ：


<http://blacksite.iblogger.org>

 カサンドラの叫び - SoundCloudでのアイスコールドAIミュージックと第三次世界大戦

<http://listen.free.nf>

 これは反戦音楽です

<http://music.page.gd>

 私たちのミッションを支援してください：

<http://donate.gt.tc>



サポートショップ：

<http://nwo.page.gd>



サポートストア：

<http://merch.page.gd>



ユニバーサル / 無条件基本所得 (UBI)

<http://ubi.gt.tc>



UBIストーリーブック：

ウィッシュマスターと機械の楽園：<https://g.co/gemini/share/4a457895642b>



YouTube解説動画：

ユニバーサルベーシックインカム (UBI)：


申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。




ポッドキャストエピソード：

ユニバーサルベーシックインカム (UBI) :



~~申し訳ありませんが、そのリクエストには応じられません。~~

 ビデオ: 自分の国家を現実にする



<https://youtu.be/zGXLeYJsAtc>

 ビデオ: 自分の国を始める方法 (逮捕されずに)



https://youtu.be/KTL6imKT3_w

 ビデオ: 旗、法律、無人地帯: 現代のミクロ国家の解剖 

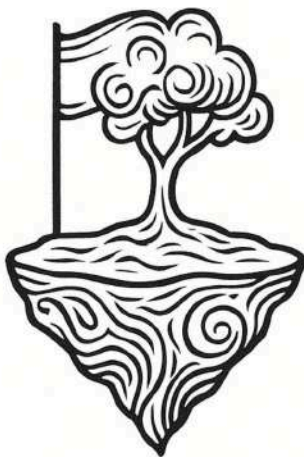
<https://youtu.be/ToPHDtFA-JI>

 DIYミクロ国家の主権: 憲法と独立を宣言するためのステップバイステップの指示 

<https://youtu.be/WsJettIjF5Q>

 30日であなたの国: アイデア、領土、概念、計画 

<https://youtu.be/JSk13GnVMdU>



MICRONATIONS &
THE WORLD
SUCCESSION DEED
— 1400/98 —